

— 2024年度 —

# 成蹊学園事業報告書



学校法人 成蹊学園

# 2024 年度成蹊学園事業報告書

## 目次

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 2024 年度事業報告書発行に際して ..... | 1 |
|--------------------------|---|

### I. 法人の概要

---

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 1. 建学の精神 .....           | 2  |
| 2. 学園の沿革 .....           | 3  |
| 3. 設置校 .....             | 4  |
| 4. 在学生 .....             | 5  |
| 5. 組織図 .....             | 8  |
| 6. 役員等 .....             | 9  |
| 7. 教職員 .....             | 12 |
| 8. 内部統制システム整備の基本方針 ..... | 13 |
| 9. 環境負荷低減の状況 .....       | 15 |

### II. 事業の概要

---

|                   |    |
|-------------------|----|
| 第3次中期計画について ..... | 18 |
| 1. 大学 .....       | 19 |
| 2. 中学・高等学校 .....  | 30 |
| 3. 小学校 .....      | 35 |
| 4. 法人 .....       | 37 |

### III 財務の概要

---

|                        |    |
|------------------------|----|
| 1. 学校法人会計について .....    | 43 |
| 2. 2024 年度決算について ..... | 45 |
| 3. 5 ヶ年の財務状況推移 .....   | 50 |
| 4. 主な財務比率等の推移 .....    | 54 |
| 5. その他 .....           | 55 |
| 6. 財産目録 .....          | 56 |

## 監査報告書

## 2024 年度事業報告書発行に際して

成蹊学園は、1912（明治 45）年、池袋の地に成蹊実務学校を創立して以来発展を遂げ、現在では小学校、中学校、高等学校、大学、大学院を有する総合学園として、武蔵野市吉祥寺に立地するワンキャンパスで教育・研究活動を行っています。この間、創立者中村春二が目指した教育理念である自発的精神の涵養と個性の発見伸長を育む、独自の人間教育を実践し、数多くの有為な人材を社会に送り出してきました。

そして、今、社会が大きく変化している中で、世界中が過酷な試練を強いられ、学校教育の現場もこれまでの常識が通用しない難しい状況に置かれています。しかしながら、このような時だからこそ、私立学校は、時代に即した特色ある教育を実践し、社会から高い評価と信頼を得る存在でなければなりません。

本報告書では、「法人の概要」、「財務の概要」と併せ、第 3 次中期計画の実施状況を中心とした「事業の概要」を報告しています。第 3 次中期計画は、第 2 次中期計画（2019～2022 年度）の成果や課題を踏まえつつ、改めて卒業生・教職員に向けてアンケート調査を行い、成蹊教育の価値、成蹊の特長・課題、学園の将来像などについて多くの声を集めながら策定を行いました。そして、計画の最終年度である 2028 年度までに学園全体として目指す最上位の目標（学園目標）を「確かな教養と豊かな人間性を備え、グローバル社会の発展に貢献する「桃李の人」を育てる」と定め、この目標を達成すべく、各設置校・法人は一丸となって重要施策に取り組んでいます。

確かな教養と豊かな人間性を兼ね備え、社会の発展のために献身的に貢献できる人材を育成することこそが、本学園の建学の主旨であり、これからの時代においてもさらに強く求められるミッションです。世の中の変化が著しく加速する困難な時だからこそ、時代のニーズにあった教育改革を迅速に断行し、社会に求められる人材を送り出す努力を続けていきます。

今後も時代や社会の変化に柔軟に対応しながら学園内の様々な取組を継続・発展させ、より良い教育・研究の実現に注力していきます。本書を通じて、本学園の活動にご理解いただきますとともに、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人 成蹊学園

# I. 法人の概要

---

## Ⅰ. 建学の精神

### 「個性の尊重」「品性の陶冶」「勤労の実践」

創立者の中村春二は、その教育の基本的なあり方を、日本古来の教育理念ともいえる「修養」（精神を練磨し、優れた人格を形成することにつとめる）としました。人間はどんな状況に置かれても、それを乗り越えるだけの「心の力」がもともと一人ひとりに備わっており、その「尊い心」の存在に気づくことで、自奮自発の強固な精神力が培われる——こうした人間育成、人格養成を教育の根幹に据えたのです。

成蹊学園では、この創立者の理念を礎として、自発的精神の涵養と個性の発見伸長を目指す、独自の教育を実践してきました。現在、成蹊学園は小学校から大学院までを擁する総合学園に発展し、一貫連携教育体制のもと、さらにその質の向上を目指しています。

近年、初等・中等教育はもちろん、人材を社会に送り出す高等教育においても、人格形成・人間教育の役割が重視されており、その責任と期待はますます大きくなっています。成蹊学園では、社会が求める教育のあり方に対し、成蹊独自の理念を持って応えてまいります。

## 2. 学園の沿革

|              |                                                                               |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 1906(明治 39)年 | 中村春二 本郷西片町に学生塾を開塾(翌年「成蹊園」と命名)                                                 |
| 1912(明治 45)年 | 成蹊実務学校を池袋に創立、「凝念」開始                                                           |
| 1913(大正 2)年  | 「心の力(心力歌)」完成(全8章 小林一郎作)                                                       |
| 1914(大正 3)年  | 成蹊中学校を池袋に開校                                                                   |
| 1915(大正 4)年  | 成蹊小学校を池袋に開校                                                                   |
| 1917(大正 6)年  | 成蹊実業専門学校を池袋に開校<br>成蹊女学校を目白に開校                                                 |
| 1919(大正 8)年  | 「財団法人成蹊学園」設立                                                                  |
| 1921(大正 10)年 | 成蹊高等女学校開校(女学校を改組)                                                             |
| 1924(大正 13)年 | 池袋から吉祥寺へ移転 新校舎完成(現本館)                                                         |
| 1925(大正 14)年 | 成蹊高等学校(七年制)開校                                                                 |
| 1947(昭和 22)年 | 新制 成蹊中学校開校                                                                    |
| 1948(昭和 23)年 | 新制 成蹊高等学校開校                                                                   |
| 1949(昭和 24)年 | 成蹊大学開学(政治経済学部)                                                                |
| 1951(昭和 26)年 | 財団法人成蹊学園を「学校法人成蹊学園」に改組                                                        |
| 1962(昭和 37)年 | 大学 工学部開設                                                                      |
| 1964(昭和 39)年 | 小学校・中学校 「国際特別学級」設置(1995年「国際学級」と改称)                                            |
| 1965(昭和 40)年 | 大学 文学部開設                                                                      |
| 1966(昭和 41)年 | 大学 大学院工学研究科開設                                                                 |
| 1968(昭和 43)年 | 大学 経済学部・法学部開設(政治経済学部を改組)                                                      |
| 1970(昭和 45)年 | 大学 大学院経済学研究科開設<br>大学院法学研究科開設(1972年 法学政治学研究科と改称)                               |
| 1971(昭和 46)年 | 大学 大学院文学研究科開設                                                                 |
| 1972(昭和 47)年 | 大学 大学院経営学研究科開設                                                                |
| 1981(昭和 56)年 | 大学 情報処理センター設置<br>アジア太平洋研究センター設置                                               |
| 1988(昭和 63)年 | 学園史料館開館                                                                       |
| 1993(平成 5)年  | 大学 国際交流センター設置                                                                 |
| 1999(平成 11)年 | 学園情報センター設置(2002年大学情報処理センターを統合)                                                |
| 2004(平成 16)年 | 学園国際教育センター設置(大学国際交流センターを改組)<br>大学 大学院法務研究科(法科大学院)開設<br>経済経営学科開設(経済学科と経営学科を統合) |
| 2005(平成 17)年 | 大学 理工学部開設(工学部を改組)                                                             |
| 2007(平成 19)年 | 大学 大学院経済経営研究科開設(経済学研究科と経営学研究科を統合)                                             |
| 2009(平成 21)年 | 大学 大学院理工学研究科開設(工学研究科を改組)                                                      |
| 2010(平成 22)年 | 大学 情報センター設置(学園情報センターを改組)                                                      |
| 2012(平成 24)年 | 学園創立100周年                                                                     |
| 2014(平成 26)年 | 大学 ボランティア支援センター設置<br>高等教育開発・支援センター設置(情報センターを改組)<br>中学校 創立100周年                |
| 2015(平成 27)年 | 小学校 創立100周年                                                                   |
| 2018(平成 30)年 | 成蹊学園サステナビリティ教育研究センター設置                                                        |
| 2019(令和元)年   | 学園 ユネスコスクールに認定される                                                             |
| 2020(令和2)年   | 大学 経済学部・経営学部開設(経済学部を改組)<br>Society5.0研究所設置                                    |

### 3. 設置校

(2024 年 4 月 1 日現在)

|        |            |              |                 |              |
|--------|------------|--------------|-----------------|--------------|
| 成蹊大学   | 学院         | 理工学研究科       |                 |              |
|        |            | 理工学専攻        | (博士前期課程、博士後期課程) |              |
|        |            | 経済経営研究科      |                 |              |
|        |            | 経済学専攻        | (博士前期課程、博士後期課程) |              |
|        |            | 経営学専攻        | (博士前期課程、博士後期課程) |              |
|        |            | 法学政治学研究科     |                 |              |
|        |            | 法学専攻         | (博士前期課程、博士後期課程) |              |
|        |            | 政治学専攻        | (博士前期課程、博士後期課程) |              |
|        |            | 文学研究科        |                 |              |
|        |            | 英米文学専攻       | (博士前期課程、博士後期課程) |              |
|        |            | 日本文学専攻       | (博士前期課程、博士後期課程) |              |
|        |            | 社会文化論専攻      | (博士前期課程、博士後期課程) |              |
|        |            | 経済学部         | 経済経営学科          | ※2020年4月募集停止 |
|        |            | 経済学部         | 経済数理学科          |              |
|        |            | 現代経済学科       |                 |              |
| 理工学部   | 物質生命理工学科   | ※2022年4月募集停止 |                 |              |
|        | 情報科学科      | ※2022年4月募集停止 |                 |              |
|        | システムデザイン学科 | ※2022年4月募集停止 |                 |              |
|        | 理工学科       |              |                 |              |
|        | 英語英米文学科    |              |                 |              |
| 文学部    | 日本文学科      |              |                 |              |
|        | 国際文化学科     |              |                 |              |
|        | 現代社会学科     |              |                 |              |
|        | 法学部        | 法学科          |                 |              |
|        | 政治学科       |              |                 |              |
| 経営学部   | 総合経営学科     |              |                 |              |
|        | 全日制課程普通科   |              |                 |              |
| 成蹊高等学校 |            |              |                 |              |
| 成蹊中学校  |            | (国際学級併設)     |                 |              |
| 成蹊小学校  |            | (国際学級併設)     |                 |              |

## 4. 在学生

### 学部

(2024年5月1日現在)

| 学部   | 学科         | 総計    |       |       | 学年別数 |       |       |       |
|------|------------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
|      |            | 男     | 女     | 計     | 学年   | 男     | 女     | 計     |
| 経済学部 | 経済数理学科     | 238   | 96    | 334   | 1年   | 60    | 29    | 89    |
|      |            |       |       |       | 2年   | 63    | 28    | 91    |
|      |            |       |       |       | 3年   | 57    | 17    | 74    |
|      |            |       |       |       | 4年   | 58    | 22    | 80    |
|      | 現代経済学科     | 456   | 181   | 637   | 1年   | 107   | 42    | 149   |
|      |            |       |       |       | 2年   | 114   | 51    | 165   |
|      |            |       |       |       | 3年   | 105   | 46    | 151   |
|      |            |       |       |       | 4年   | 130   | 42    | 172   |
|      | 経済経営学科     | 15    | 4     | 19    | 3年   | 4     | 1     | 5     |
|      |            |       |       |       | 4年   | 11    | 3     | 14    |
|      | 計          | 709   | 281   | 990   | 計    | 709   | 281   | 990   |
| 理工学部 | 理工学科       | 1,073 | 251   | 1,324 | 1年   | 360   | 91    | 451   |
|      |            |       |       |       | 2年   | 348   | 71    | 419   |
|      |            |       |       |       | 3年   | 365   | 89    | 454   |
|      | 物質生命理工学科   | 88    | 44    | 132   | 3年   | 4     | 4     | 8     |
|      |            |       |       |       | 4年   | 84    | 40    | 124   |
|      |            |       |       |       | 1年   | 1     | 0     | 1     |
|      | 情報科学科      | 131   | 28    | 159   | 2年   | 1     | 0     | 1     |
|      |            |       |       |       | 3年   | 11    | 3     | 14    |
|      |            |       |       |       | 4年   | 118   | 25    | 143   |
|      | システムデザイン学科 | 121   | 16    | 137   | 2年   | 1     | 0     | 1     |
|      |            |       |       |       | 3年   | 8     | 1     | 9     |
|      |            |       |       |       | 4年   | 112   | 15    | 127   |
|      | 計          | 1,413 | 339   | 1,752 | 計    | 1,413 | 339   | 1,752 |
| 文学部  | 英語英米文学科※   | 161   | 350   | 511   | 1年   | 40    | 86    | 126   |
|      |            |       |       |       | 2年   | 38    | 89    | 127   |
|      |            |       |       |       | 3年   | 41    | 87    | 128   |
|      |            |       |       |       | 4年   | 42    | 88    | 130   |
|      | 日本文学科      | 102   | 251   | 353   | 1年   | 20    | 66    | 86    |
|      |            |       |       |       | 2年   | 27    | 58    | 85    |
|      |            |       |       |       | 3年   | 25    | 61    | 86    |
|      |            |       |       |       | 4年   | 30    | 66    | 96    |
|      | 国際文化学科     | 119   | 352   | 471   | 1年   | 29    | 84    | 113   |
|      |            |       |       |       | 2年   | 33    | 85    | 118   |
|      |            |       |       |       | 3年   | 30    | 86    | 116   |
|      |            |       |       |       | 4年   | 27    | 97    | 124   |
|      | 現代社会学科     | 102   | 326   | 428   | 1年   | 24    | 85    | 109   |
|      |            |       |       |       | 2年   | 28    | 83    | 111   |
|      |            |       |       |       | 3年   | 22    | 76    | 98    |
|      |            |       |       |       | 4年   | 28    | 82    | 110   |
|      | 計          | 484   | 1,279 | 1,763 | 計    | 484   | 1,279 | 1,763 |
| 法学部  | 法律学科       | 699   | 513   | 1,212 | 1年   | 137   | 143   | 280   |
|      |            |       |       |       | 2年   | 177   | 128   | 305   |
|      |            |       |       |       | 3年   | 191   | 119   | 310   |
|      |            |       |       |       | 4年   | 194   | 123   | 317   |
|      | 政治学科       | 435   | 247   | 682   | 1年   | 110   | 56    | 166   |
|      |            |       |       |       | 2年   | 106   | 61    | 167   |
|      |            |       |       |       | 3年   | 96    | 56    | 152   |
|      |            |       |       |       | 4年   | 123   | 74    | 197   |
|      | 計          | 1,134 | 760   | 1,894 | 計    | 1,134 | 760   | 1,894 |
| 経営学部 | 総合経営学科     | 609   | 626   | 1,235 | 1年   | 158   | 143   | 301   |
|      |            |       |       |       | 2年   | 130   | 170   | 300   |
|      |            |       |       |       | 3年   | 143   | 152   | 295   |
|      |            |       |       |       | 4年   | 178   | 161   | 339   |
|      | 計          | 609   | 626   | 1,235 | 計    | 609   | 626   | 1,235 |
| 合計   |            | 4,349 | 3,285 | 7,634 | 合計   | 4,349 | 3,285 | 7,634 |

※2018年度以前入学は英米文学科

大学院

(2024年5月1日現在)

| 研究科      | 専攻          | 博士前期課程 |    |    |      |    |    |     | 博士後期課程 |   |   |      |   |   |      |   |   |    | 合計  |
|----------|-------------|--------|----|----|------|----|----|-----|--------|---|---|------|---|---|------|---|---|----|-----|
|          |             | 1 年次   |    |    | 2 年次 |    |    | 小計  | 1 年次   |   |   | 2 年次 |   |   | 3 年次 |   |   | 小計 |     |
|          |             | 男      | 女  | 計  | 男    | 女  | 計  |     | 男      | 女 | 計 | 男    | 女 | 計 | 男    | 女 | 計 |    |     |
| 理工学研究科   | 物質生命コース     | 15     | 10 | 25 | 24   | 9  | 33 | 58  | 1      | 0 | 1 | 1    | 0 | 1 | 2    | 0 | 2 | 4  | 62  |
|          | 情報科学コース     | 10     | 5  | 15 | 12   | 0  | 12 | 27  | 1      | 0 | 1 | 0    | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 | 1  | 28  |
|          | システムデザインコース | 15     | 3  | 18 | 18   | 3  | 21 | 39  | 1      | 0 | 1 | 0    | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 | 1  | 40  |
|          | 計           | 40     | 18 | 58 | 54   | 12 | 66 | 124 | 3      | 0 | 3 | 1    | 0 | 1 | 2    | 0 | 2 | 6  | 130 |
| 経済経営研究科  | 経済学専攻       | 0      | 0  | 0  | 1    | 0  | 1  | 1   | 0      | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 | 0  | 1   |
|          | 経営学専攻       | 4      | 2  | 6  | 3    | 1  | 4  | 10  | 0      | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 | 0  | 10  |
|          | 計           | 4      | 2  | 6  | 4    | 1  | 5  | 11  | 0      | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 | 0  | 11  |
| 法学政治学研究科 | 法律学専攻       | 0      | 2  | 2  | 0    | 0  | 0  | 2   | 0      | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 | 0  | 2   |
|          | 政治学専攻       | 3      | 0  | 3  | 0    | 0  | 0  | 3   | 0      | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 | 0  | 3   |
|          | 計           | 3      | 2  | 5  | 0    | 0  | 0  | 5   | 0      | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 | 0  | 5   |
| 文学研究科    | 英米文学専攻      | 0      | 1  | 1  | 0    | 0  | 0  | 1   | 1      | 0 | 1 | 0    | 0 | 0 | 0    | 1 | 1 | 2  | 3   |
|          | 日本文学専攻      | 1      | 3  | 4  | 1    | 1  | 2  | 6   | 2      | 3 | 5 | 1    | 0 | 1 | 0    | 0 | 0 | 6  | 12  |
|          | 社会文化論専攻     | 0      | 0  | 0  | 1    | 3  | 4  | 4   | 0      | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 | 1    | 2 | 3 | 3  | 7   |
|          | 計           | 1      | 4  | 5  | 2    | 4  | 6  | 11  | 3      | 3 | 6 | 1    | 0 | 1 | 1    | 3 | 4 | 11 | 22  |
| 合計       |             | 48     | 26 | 74 | 60   | 17 | 77 | 151 | 6      | 3 | 9 | 2    | 0 | 2 | 3    | 3 | 6 | 17 | 168 |

研究生・聴講生・委託生・科目等履修生・協定留学生・特別聴講学生数

(2024年5月1日現在)

|          |            | 研究生 |   |   | 聴講生 |    |     | 委託生 |   |   | 科目等履修生 |   |   | 協定留学生 |    |    | 特別聴講学生 |    |    | 計   |    |     |
|----------|------------|-----|---|---|-----|----|-----|-----|---|---|--------|---|---|-------|----|----|--------|----|----|-----|----|-----|
|          |            | 男   | 女 | 計 | 男   | 女  | 計   | 男   | 女 | 計 | 男      | 女 | 計 | 男     | 女  | 計  | 男      | 女  | 計  | 男   | 女  | 計   |
| 学部       | 経済学部       | 0   | 0 | 0 | 2   | 0  | 2   | 0   | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 | 0     | 0  | 0  | 1      | 0  | 1  | 3   | 0  | 3   |
|          | 理工学部       | 0   | 0 | 0 | 3   | 1  | 4   | 0   | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 | 0     | 0  | 0  | 0      | 2  | 2  | 3   | 3  | 6   |
|          | 文学部        | 0   | 0 | 0 | 21  | 20 | 41  | 0   | 0 | 0 | 2      | 1 | 3 | 0     | 0  | 0  | 1      | 9  | 10 | 24  | 30 | 54  |
|          | 法学部        | 0   | 0 | 0 | 6   | 0  | 6   | 0   | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 | 0     | 0  | 0  | 0      | 0  | 0  | 6   | 0  | 6   |
|          | 経営学部       | 0   | 0 | 0 | 1   | 1  | 2   | 0   | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 | 0     | 0  | 0  | 1      | 0  | 1  | 2   | 1  | 3   |
|          | 成蹊教養カリキュラム | 0   | 0 | 0 | 19  | 9  | 28  | 0   | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 | 0     | 0  | 0  | 2      | 3  | 5  | 21  | 12 | 33  |
|          | 複数学部       | 0   | 0 | 0 | 29  | 15 | 44  | 0   | 0 | 0 | 0      | 4 | 4 | 0     | 0  | 0  | 1      | 5  | 6  | 30  | 24 | 54  |
| 大学院      | 理工学研究科     | 0   | 0 | 0 | 0   | 0  | 0   | 0   | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 | 0     | 0  | 0  | 0      | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   |
|          | 経済経営研究科    | 0   | 0 | 0 | 0   | 0  | 0   | 0   | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 | 0     | 0  | 0  | 0      | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   |
|          | 法学政治学研究科   | 0   | 0 | 0 | 0   | 0  | 0   | 0   | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 | 0     | 0  | 0  | 0      | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   |
|          | 文学研究科      | 0   | 0 | 0 | 0   | 0  | 0   | 0   | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 | 0     | 0  | 0  | 0      | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   |
|          | 法務研究科      | 1   | 0 | 1 | 0   | 0  | 0   | 0   | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 | 0     | 0  | 0  | 0      | 0  | 0  | 1   | 0  | 1   |
| 国際教育センター |            | 0   | 0 | 0 | 1   | 0  | 1   | 0   | 0 | 0 | 0      | 0 | 0 | 14    | 28 | 42 | 0      | 0  | 0  | 15  | 28 | 43  |
| 大学 計     |            | 1   | 0 | 1 | 82  | 46 | 128 | 0   | 0 | 0 | 2      | 5 | 7 | 14    | 28 | 42 | 6      | 19 | 25 | 105 | 98 | 203 |

(注1) 聴講生は、一般聴講生、武蔵野地域自由大学聴講生、外国人聴講生のうち学部科目・日本語科目を聴講する者、市役所職員聴講生の総数。

(注2) 学部の特別聴講学生は武蔵野地域5大学。

(注3) 複数学部は、2学部以上聴講の学生数。

(注4) 科目等履修生には、正課学生で他課程の科目を履修している者を含む。

高等学校 (2024年5月1日現在)

|      | 男   | 女   | 計   | 定員  |
|------|-----|-----|-----|-----|
| 第1学年 | 169 | 165 | 334 | 322 |
| 第2学年 | 162 | 160 | 322 | 322 |
| 第3学年 | 173 | 156 | 329 | 322 |
| 計    | 504 | 481 | 985 | 966 |

中学校 (2024年5月1日現在)

|      | 男   | 女   | 計   | 定員  | 国際学級 |   |    |    | 合計   |     |
|------|-----|-----|-----|-----|------|---|----|----|------|-----|
|      |     |     |     |     | 男    | 女 | 計  | 定員 | 在校生数 | 定員  |
| 第1学年 | 124 | 130 | 254 | 252 | 5    | 6 | 11 | 15 | 265  | 267 |
| 第2学年 | 138 | 138 | 276 | 267 |      |   |    |    | 276  | 267 |
| 第3学年 | 143 | 125 | 268 | 267 |      |   |    |    | 268  | 267 |
| 計    | 405 | 393 | 798 | 786 | 5    | 6 | 11 | 15 | 809  | 801 |

小学校 (2024年5月1日現在)

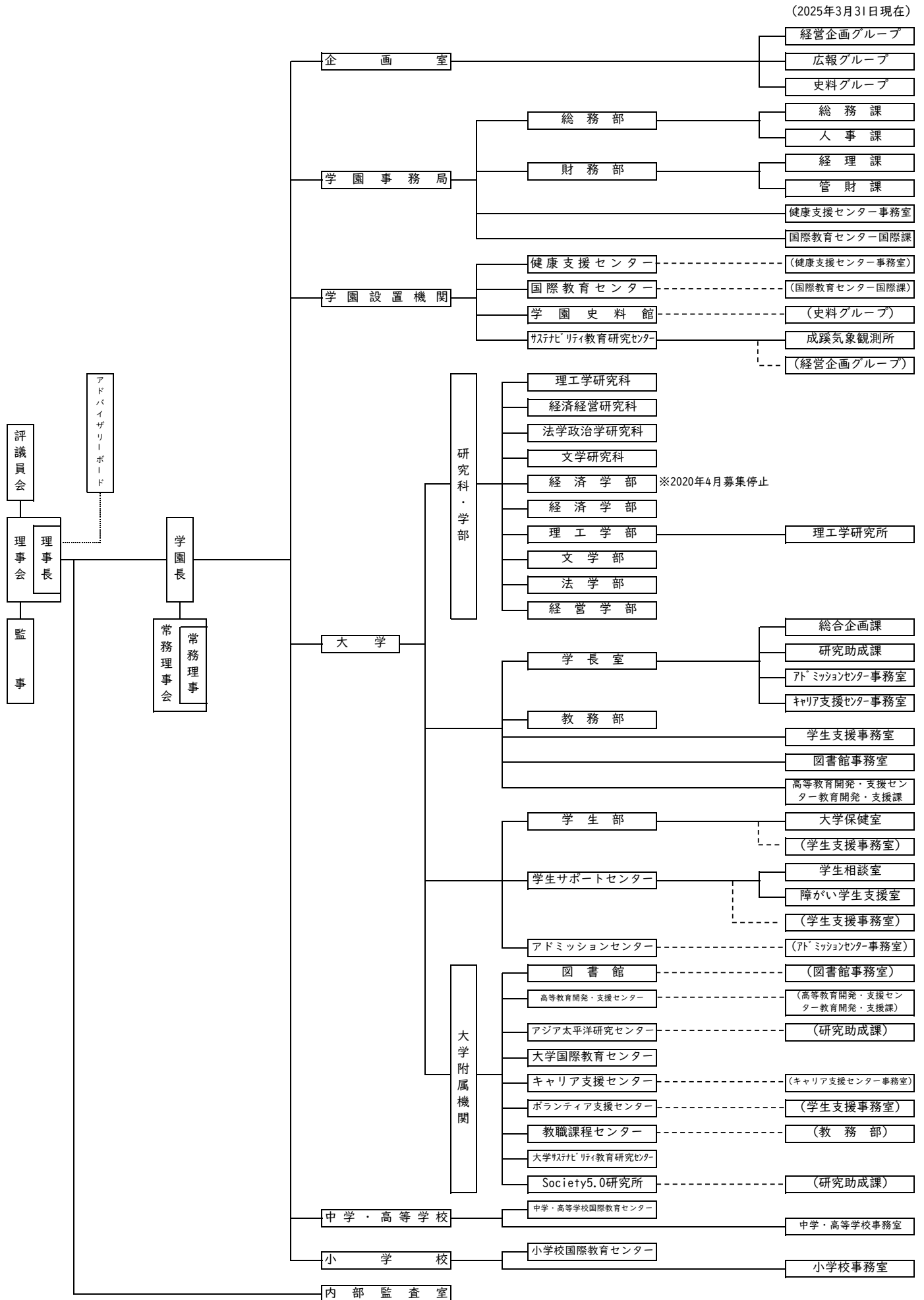
|      | 男   | 女   | 計   | 定員  | 国際学級 |   |   |    | 合計  |     |
|------|-----|-----|-----|-----|------|---|---|----|-----|-----|
|      |     |     |     |     | 男    | 女 | 計 | 定員 | 児童数 | 定員  |
| 第1学年 | 56  | 56  | 112 | 112 |      |   |   |    | 112 | 112 |
| 第2学年 | 56  | 56  | 112 | 112 |      |   |   |    | 112 | 112 |
| 第3学年 | 56  | 55  | 111 | 112 |      |   |   |    | 111 | 112 |
| 第4学年 | 56  | 56  | 112 | 112 | 4    | 2 | 6 | 16 | 118 | 128 |
| 第5学年 | 59  | 65  | 124 | 128 |      |   |   |    | 124 | 128 |
| 第6学年 | 58  | 66  | 124 | 128 |      |   |   |    | 124 | 128 |
| 計    | 341 | 354 | 695 | 704 | 4    | 2 | 6 | 16 | 701 | 720 |

在籍者数の推移

|         |         | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 大 学     | 収 容 定 員 | 7,426  | 7,466  | 7,486  | 7,506  | 7,506  |
|         | 在 籍 者 数 | 7,611  | 7,625  | 7,769  | 7,796  | 7,802  |
| 高 等 学 校 | 収 容 定 員 | 966    | 966    | 966    | 966    | 966    |
|         | 在 籍 者 数 | 979    | 984    | 986    | 978    | 985    |
| 中 学 校   | 収 容 定 員 | 801    | 801    | 801    | 801    | 801    |
|         | 在 籍 者 数 | 819    | 821    | 818    | 811    | 809    |
| 小 学 校   | 収 容 定 員 | 720    | 720    | 720    | 720    | 720    |
|         | 在 籍 者 数 | 704    | 711    | 705    | 700    | 701    |
| 合 計     | 収 容 定 員 | 9,913  | 9,953  | 9,973  | 9,993  | 9,993  |
|         | 在 籍 者 数 | 10,113 | 10,141 | 10,278 | 10,285 | 10,297 |

(注) 在籍者数は各年度の5月1日現在の人数。大学には大学院を含む。

## 5. 組織図



## 6. 役員等

(2025 年 3 月 31 日現在)

### 理 事

理 事 長：小林 健（日本商工会議所会頭、三菱商事株式会社相談役）  
学 園 長：江川 雅子  
常 務 理 事：伊藤 克容（成蹊大学経営学部教授）  
常 務 理 事：里村 和秋（成蹊大学法学部教授）  
常 務 理 事：柴 昌弘（学校法人成蹊学園企画室長兼学園史料館長）  
常 務 理 事：三嶋 偉一  
理 事：安倍 寛信（株式会社 A B コミュニケーション代表取締役）  
理 事：上杉 邦憲（国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構名誉教授）  
理 事：上田 祥士（上田歯科医院院長、一般社団法人成蹊会監事）  
理 事：岡 豊（太陽石油株式会社代表取締役会長）  
理 事：荻野 雅（成蹊小学校長）  
理 事：仙田 直人（成蹊中学校校長兼成蹊高等学校校長）  
理 事：高井 昌史（株式会社紀伊國屋書店代表取締役会長、一般社団法人成蹊会会長）  
理 事：千代延町子（一般社団法人成蹊会副会長）  
理 事：三浦 徹（お茶の水女子大学名誉教授）  
理 事：武藤 正司（一般社団法人成蹊会常務理事・副会長）  
理 事：森 雄一（成蹊大学長）

### 監 事

監 事：池谷 幹男（三菱 UFJ 信託銀行株式会社取締役会長）  
監 事：是永 和夫  
監 事：宮本 健悟（宮本国際法律事務所弁護士）

### 役員賠償責任保険契約の状況

理事・監事全員を対象に、役員賠償責任保険を保険会社との間で締結しています。

## 評議員

評議員会議長：高井 昌史（株式会社紀伊國屋書店代表取締役会長、一般社団法人成蹊会会長）

評 議 員：浅羽 隆史（成蹊大学法学部長）

評 議 員：安倍 寛信（株式会社 A B コミュニケーション代表取締役）

評 議 員：磯崎 功典（キリンホールディングス株式会社代表取締役会長 CEO）

評 議 員：伊藤 昌亮（成蹊大学文学部教授）

評 議 員：井上 智夫（成蹊大学経済学部教授）

評 議 員：上杉 邦憲（国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構名誉教授）

評 議 員：上田 祥士（上田歯科医院院長、一般社団法人成蹊会監事）

評 議 員：上田 泰（成蹊大学経営学部部長）

評 議 員：上原 明（大正製薬株式会社相談役）

評 議 員：内川 健（成蹊小学校教頭）

評 議 員：太田 克彦（元新日鉄住金株式会社（現日本製鉄株式会社）代表取締役副社長）

評 議 員：大友 克之（朝日大学学長、一般社団法人成蹊会副会長）

評 議 員：大野 千奈（成蹊小学校 PTA 会長）

評 議 員：大野 正智（成蹊大学経済学部部長）

評 議 員：小川 隆申（成蹊大学理工学部部長）

評 議 員：小山田 隆（株式会社三菱 UFJ 銀行特別顧問）

評 議 員：甲斐 宗徳（成蹊大学理工学部教授）

評 議 員：川口 玲奈（成蹊中学・高等学校 PTA 会長）

評 議 員：貴島 健治（日本テレネットサービス株式会社相談役）

評 議 員：北島 典子（成蹊大学法学部教授）

評 議 員：北村 和夫（聖心女子大学名誉教授）

評 議 員：黒川 清（特定非営利活動法人日本医療政策機構終身名誉チェアマン）

評 議 員：見城 武秀（成蹊大学文学部長）

評 議 員：関 正樹（関彰商事株式会社代表取締役社長）

評 議 員：高山 知也（日本画家、一般社団法人日本清興美術協会理事長）

評 議 員：田口 誠（成蹊大学経営学部教授）

評 議 員：千代延町子（一般社団法人成蹊会副会長）

評 議 員：永井 素夫（日産自動車株式会社独立社外取締役監査委員会委員長）

評 議 員：永野 毅（東京海上ホールディングス株式会社取締役会長）

評 議 員：板東久美子（日本赤十字社常任理事）

評 議 員：藤野 裕司（成蹊大学学長室長兼学生支援事務室部長）

評 議 員：保母 禎造（成蹊中学校教頭兼成蹊高等学校教頭）

評 議 員：堀内 丸恵（株式会社集英社取締役相談役）

評 議 員：宮越美紀子（学校法人成蹊学園総務部長兼企画室担当部長）

評 議 員：武藤 正司（一般社団法人成蹊会常務理事・副会長）

評 議 員：毛利 任宏（株式会社セプテーニ・ホールディングス常勤監査役）

評 議 員：諸見里 光（諸見里公認会計士事務所）

評 議 員：山田 崇人（成蹊大学副学長・法学部教授）  
評 議 員：横井 亮（成蹊中学校教頭兼成蹊高等学校教頭）  
評 議 員：吉田 淳一（三菱地所株式会社取締役会長）  
評 議 員：吉益 裕二（吉益公認会計士事務所代表）

#### 名誉理事

名 誉 理 事：梶谷 玄（梶谷綜合法律事務所最高相談役）  
名 誉 理 事：亀嶋 庸一（成蹊大学名誉教授）  
名 誉 理 事：黒川 清（特定非営利活動法人日本医療政策機構終身名誉チェアマン）  
名 誉 理 事：佃 和夫（株式会社インターネットイニシアティブ社外取締役）  
名 誉 理 事：天坊 昭彦（学校法人武蔵野美術大学名誉顧問）  
名 誉 理 事：橋本 竹夫（成蹊大学名誉教授）

## 7. 教職員

2024年5月1日現在

|       | 所属       | 専任   | 非常勤 | 計     |
|-------|----------|------|-----|-------|
| 教員    | 国際教育センター | 12   | 9   | 21    |
|       | 大学       | 経済学部 | 171 | 393   |
|       |          | 経営学部 |     |       |
|       |          | 理工学部 |     |       |
|       |          | 文学部  |     |       |
|       |          | 法学部  |     |       |
|       |          | 共通   | 212 | 230   |
|       |          | 大学計  | 240 | 623   |
|       | 高等学校     | 47   | 27  | 74    |
|       | 中学校      | 43   | 22  | 65    |
|       | 小学校      | 39   | 6   | 45    |
|       | 学園養護教諭   | 2    | 0   | 2     |
|       | 教員小計     | 383  | 447 | 830   |
| 事務職員等 | 事務職員     | 250  |     | 250   |
|       | 技術職員     | 2    |     | 2     |
|       | 労務職員     | 0    |     | 0     |
|       | 事務職員等小計  | 252  |     | 252   |
| 合 計   |          | 635  | 447 | 1,082 |

(注1) 専任教員には、特別任用教授、特別任用教諭、客員教授、客員准教授、客員講師および契約職員（助手）を含み、嘱託教員、外国語指導教員を含まない。

(注2) 事務職員等には契約職員を含み、時間給職員および嘱託職員を含まない。

### 教職員数の推移

|           |       | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|-----------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 国際教育センター  | 専任    | 11     | 11     | 8      | 12     | 12     |
|           | 非常勤   | 12     | 9      | 9      | 9      | 9      |
| 大学教員      | 専任    | 242    | 248    | 250    | 249    | 240    |
|           | 非常勤   | 403    | 346    | 349    | 354    | 383    |
| 中学・高等学校教員 | 専任    | 89     | 90     | 89     | 91     | 90     |
|           | 非常勤   | 53     | 54     | 53     | 54     | 49     |
| 小学校教員     | 専任    | 40     | 41     | 41     | 41     | 39     |
|           | 非常勤   | 6      | 6      | 5      | 6      | 6      |
| 学園養護教諭    | 専任    | 3      | 3      | 2      | 2      | 2      |
|           | 非常勤   | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 職員        | 事務    | 260    | 256    | 256    | 256    | 250    |
|           | 労務・技術 | 4      | 4      | 4      | 3      | 2      |
| 合計        | 専任    | 649    | 653    | 650    | 654    | 635    |
|           | 非常勤   | 474    | 415    | 416    | 423    | 447    |

(注1) 教職員数は各年度の5月1日現在の人数

(注2) 教員には、特別任用教授・教諭を含む

(注3) 職員には契約職員を含む

## 8. 内部統制システム整備の基本方針

成蹊学園では、2024年12月13日開催の理事会において、改正私立学校法（2025年4月1日施行）第36条第3項第5号により整備することとされた「理事の職務の執行が法令及び寄附行為に適合することを確保するための体制」及び私立学校法施行規則（2025年4月1日施行）第13条により「業務の適正を確保するために必要なものとして整備することとされた11項目（※）の体制」の整備（＝内部統制システムの整備）に関し、基本方針を以下のとおり制定しました。

### （※）11 項目の内容

1. 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
2. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
3. 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
4. 職員の職務の執行が法令及び寄附行為に適合することを確保するための体制
5. 監事がその職務を補助すべき職員を置くことを求めた場合における当該職員に関する事項
6. 「5」の職員の理事からの独立性に関する事項
7. 監事の「5」の職員に対する指示の実効性の確保に関する事項
8. 理事及び職員が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制
9. 「8」の報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制
10. 監事の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続その他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項
11. その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

### 学校法人成蹊学園内部統制システム整備の基本方針

#### 1. 経営に関する管理体制

- ①「寄附行為」及び「学校法人成蹊学園寄附行為施行規則」（以下「寄附行為施行規則」という。）に基づき、理事会及び評議員会の役割、権限及び体制を明確にし、適切な理事会及び評議員会の運営を行う。
- ②「寄附行為施行規則」に基づき、常務理事会を設置し、「学校法人成蹊学園常務理事会規則」に従い、理事会に付する議案及びその内容並びに本法人の設置する学校全体に関わる教学の立案及び推進等について審議する。
- ③「寄附行為」、「寄附行為施行規則」及び理事会決定に基づき、業務を執行する理事の担当業務を明確化し、事業運営の適切かつ迅速な推進を図る。
- ④理事会、評議員会等の重要会議の議事録その他理事の職務執行に係る情報については、「寄附行為」及び「成蹊学園文書取扱規則」に基づき、適切に作成、保存及び管理する。

## 2. リスク管理に関する体制

- ①リスク管理に関し、体制及び「成蹊学園リスクマネジメント規則」を整備し、役割権限、リスクの評価方法、リスク対応方法等を明確にする。

## 3. コンプライアンスに関する管理体制

- ①理事及び職員等の職務の執行が法令並びに「寄附行為」及び本法人の諸規則に適合することを確保するための体制を整備するため、「成蹊学園コンプライアンス推進に関する規則」を定める。

## 4. 監査環境の整備（監事の監査業務の適正性を確保するための体制）

- ①監事は、「学校法人成蹊学園監事監査規則」に基づき、公平不偏の立場で監事監査を行う。
- ②監事の職務を補助するものとして、監事の求めに応じ、独立性を有する補助職員を配置することができる。
- ③理事又は職員等は、本法人に著しい損害を与えるおそれのある事実又は法令、寄附行為その他の規則等に反する行為等を発見したときは、直ちに監事に報告する。
- ④理事又は職員等は、不正の目的なく監事に報告を行ったことを理由として不利益な取り扱いを受けない。
- ⑤理事及び職員等は、職務執行状況等について、監事又は監事から指示を受けた補助職員が報告を求めた場合には、速やかにこれに応じる。
- ⑥監事がその職務の執行について生ずる費用の前払い若しくは支出した費用の償還又は負担した債務の弁済を請求した場合には、速やかに相当額を支払う。

## 5. 本方針の改廃

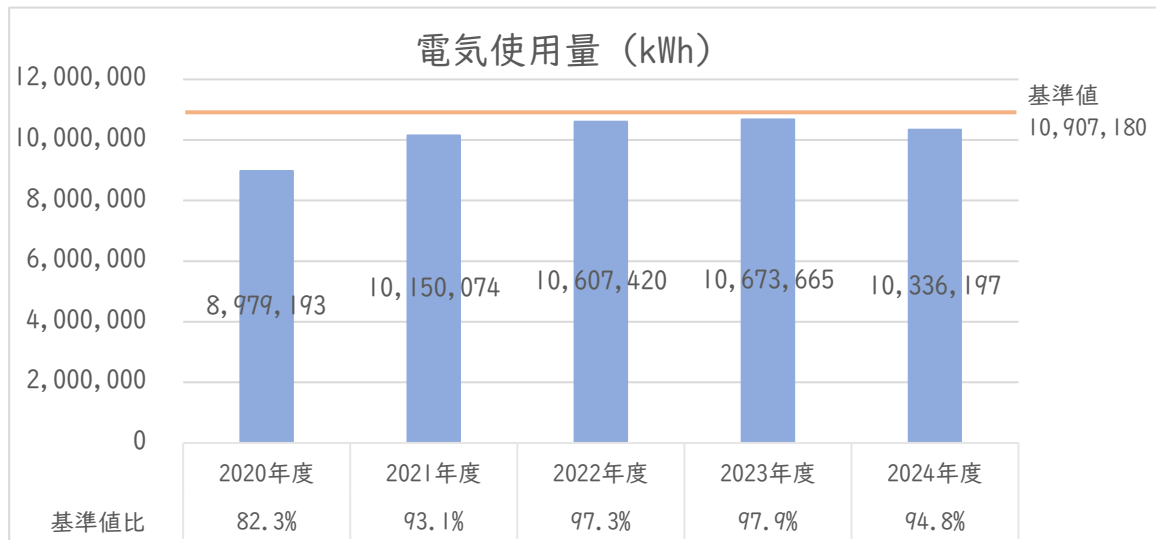
本方針に見直しの必要性が生じた場合は、理事会の決議により改正するものとする。

2024年12月13日制定

## 9. 環境負荷低減の状況

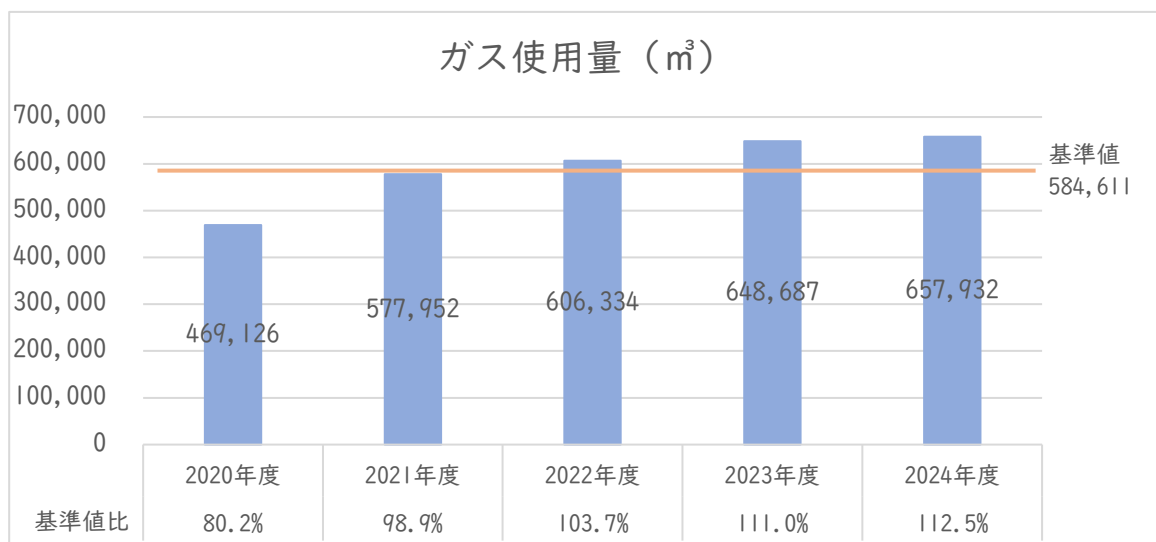
### <エネルギー消費状況>

電気・ガス・水道使用量について、2024年度は2016～2018年度平均値からの削減を目指し、取組を進めました。その結果、電気・水道使用量については目標を達成し、ガスについては73,321 m<sup>3</sup>の超過となりました。



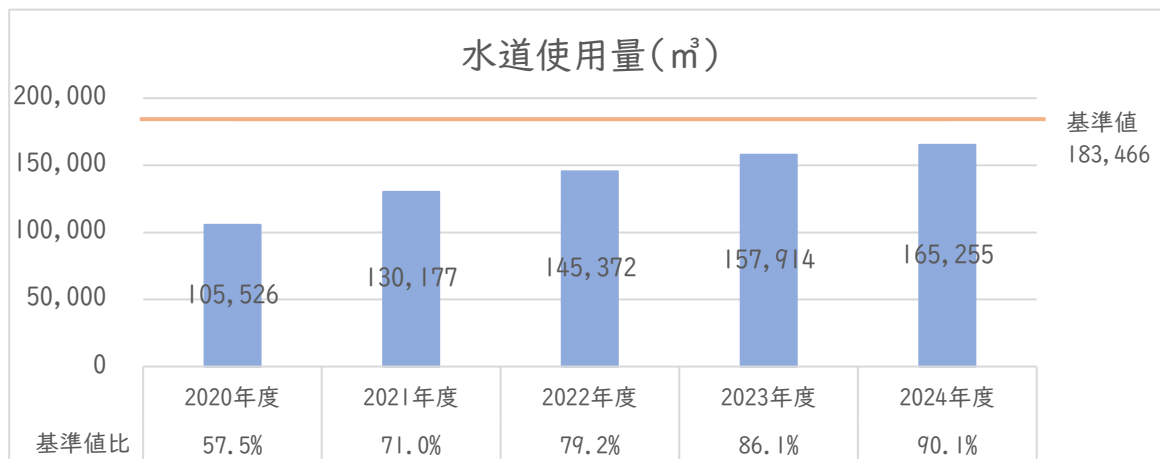
年度別電気総使用量 (kWh)

| 基準値        | 2020年度    | 2021年度     | 2022年度     | 2023年度     | 2024年度     |
|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|
| 10,907,180 | 8,979,193 | 10,150,074 | 10,607,420 | 10,673,665 | 10,336,197 |



年度別ガス総使用量 (m<sup>3</sup>)

| 基準値     | 2020年度  | 2021年度  | 2022年度  | 2023年度  | 2024年度  |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 584,611 | 469,126 | 577,952 | 606,334 | 648,687 | 657,932 |



年度別水道総使用量 (m<sup>3</sup>)

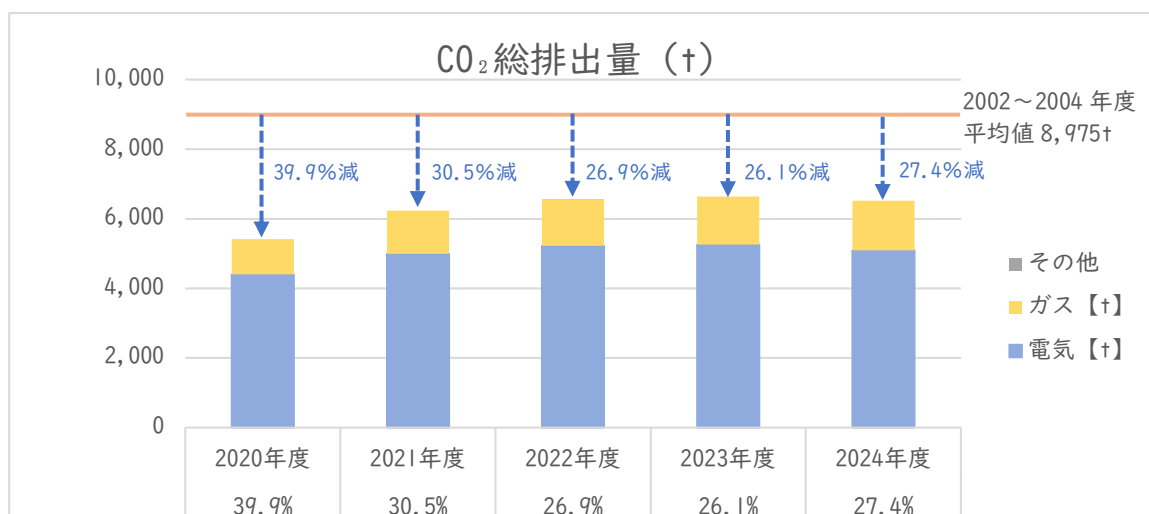
| 基準値     | 2020 年度 | 2021 年度 | 2022 年度 | 2023 年度 | 2024 年度 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 183,466 | 105,526 | 130,177 | 145,372 | 157,914 | 165,255 |

\*成蹊大学新棟（新Ⅱ号館）建築工事において使用された水量は含んでいません。

### <CO<sub>2</sub>換算データ>

電気、ガス、水道、重油などのエネルギー使用状況を東京都や経済産業省に報告する際、それぞれの使用量とは別に発熱量、原油、CO<sub>2</sub>に換算したデータを提出しています。換算方法は使用量数値に対して係数\*をかけて算出します。

2024年度は東京都環境確保条例に基づき2002～2004年度の平均値8,975tから27%削減することを目指し、取組を進めました。その結果、削減率は27.4%となりました。



|           |   | 2020 年度 | 2021 年度 | 2022 年度 | 2023 年度 | 2024 年度 |
|-----------|---|---------|---------|---------|---------|---------|
| 電気        |   | 4,406   | 4,996   | 5,224   | 5,261   | 5,090   |
| ガス        |   | 990     | 1,242   | 1,335   | 1,374   | 1,428   |
| その他       | I | 0       | I       | 0       | 0       | 0       |
|           | 0 | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |
|           | 0 | 0       | 0       | 0       | 0       | 0       |
| 総 CO2 排出量 |   | 5,397   | 6,238   | 6,560   | 6,635   | 6,518   |

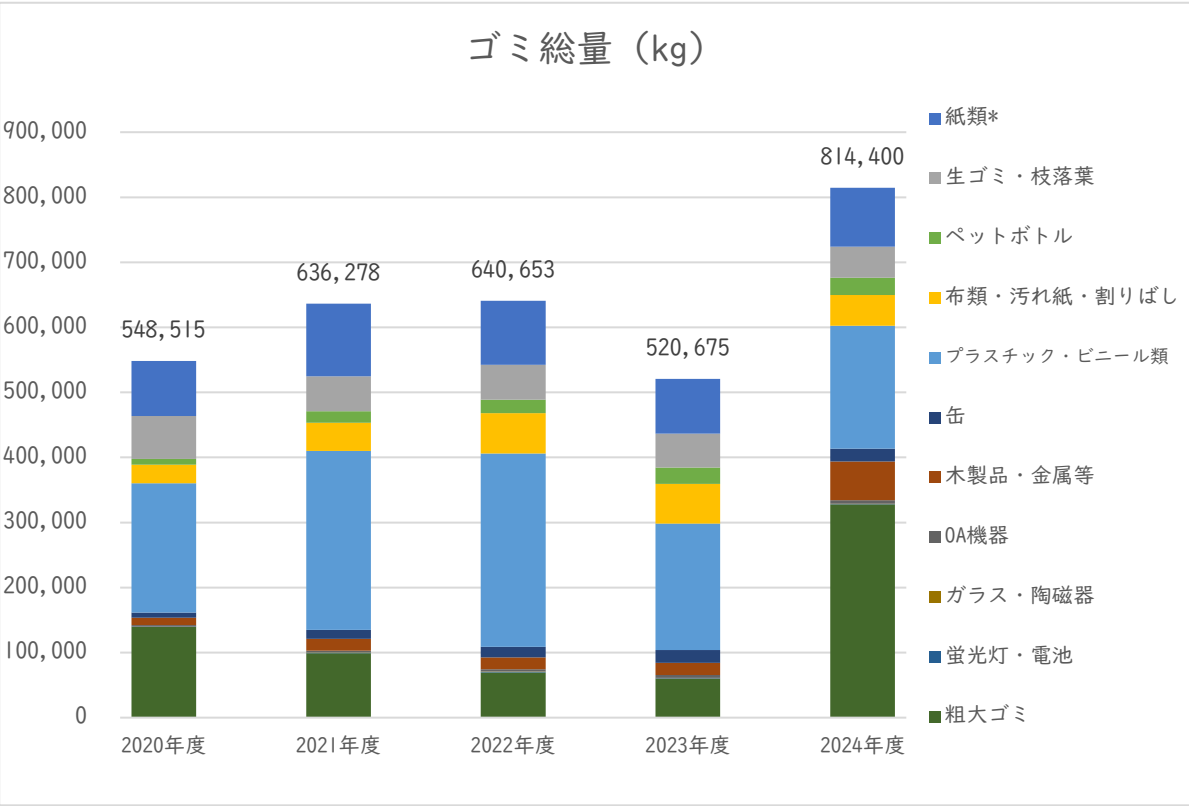
\*換算係数：東京都環境局が定める換算係数を使用

電気：t/kWh×0.000489、ガス：t/m<sup>3</sup>/補正係数×0.045×0.0136×44/12（補正係数 中圧 1.0448・低圧 1.0345）、

A 重油：t/l×0.0391×0.0189×44/12、灯油：t/l×0.0367×0.0185×44/12、LPG：t/m<sup>3</sup>×2.07÷0.0508×0.0161×44/12

＜ゴミとリサイクルの状況＞

2024 年度のゴミ総量は 814,400 kg となり、2023 年度と比べ 293,725 kg 増加しました。増加の主な理由は、大学 11 号館と 12 号館の解体に伴い、理工学部の実験室から多くの粗大ゴミをまとめて処分したためです。リサイクル率については、2023 年度に引き続き「布類・汚れ紙・割りばし」を除き 100%を維持しました。



(kg)

|      | ゴミ種別         | 2020 年度        | 2021 年度        | 2022 年度        | 2023 年度        | 2024 年度        |
|------|--------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 可燃ゴミ | 紙類*          | 84,590 (100%)  | 111,420 (100%) | 98,285 (100%)  | 84,280 (100%)  | 90,185 (100%)  |
|      | 生ゴミ・枝落葉      | 65,990 (100%)  | 53,599 (100%)  | 53,600 (100%)  | 51,730 (100%)  | 48,160 (100%)  |
|      | 布類・汚れ紙・割りばし  | 28,780 (0%)    | 43,130 (0%)    | 62,260 (0%)    | 60,760 (0%)    | 47,510 (0%)    |
| 不燃ゴミ | プラスチック・ビニール類 | 198,825 (100%) | 275,325 (100%) | 297,190 (100%) | 194,640 (100%) | 188,910 (100%) |
|      | ペットボトル       | 8,983 (100%)   | 18,070 (100%)  | 20,579 (100%)  | 25,490 (100%)  | 26,146 (100%)  |
|      | 缶            | 7,603 (100%)   | 13,734 (100%)  | 15,954 (100%)  | 19,405 (100%)  | 19,904 (100%)  |
|      | 木製品・金属等      | 11,250 (100%)  | 18,080 (100%)  | 18,480 (100%)  | 18,930 (100%)  | 59,130 (100%)  |
|      | OA 機器        | 2,500 (100%)   | 2,500 (100%)   | 3,510 (100%)   | 4,450 (100%)   | 5,750 (100%)   |
|      | ガラス・陶磁器      | 0 (-)          | 480 (100%)     | 385 (100%)     | 500 (100%)     | 125 (100%)     |
|      | 蛍光灯・電池       | 494 (100%)     | 715 (100%)     | 785 (100%)     | 865 (100%)     | 705 (100%)     |
| 粗大ゴミ |              | 45,375 (100%)  | 99,225 (100%)  | 69,625 (100%)  | 59,625 (100%)  | 327,875 (100%) |
| ゴミ総量 |              | 548,515        | 636,278        | 640,653        | 520,675        | 814,400        |

( )内の数値はリサイクル率

\*紙類の内訳：OA 紙、ミックスペーパー、新聞、雑誌・書籍、段ボール

## Ⅱ．事業の概要

### 第3次中期計画について

本学園では、2019年度から2022年度までの4年間にわたって取り組んだ第2次中期計画の成果や課題を踏まえつつ、改めて卒業生・教職員に向けてアンケート調査を行い、成蹊教育の価値、成蹊の特長・課題、学園の将来像などについて多くの声を集めながら、第3次中期計画を策定しました。

計画の最終年度である2028年度までに学園全体として目指す最上位の目標（学園目標）は次の通りです。

#### － 学 園 －

確かな教養と豊かな人間性を備え、グローバル社会の発展に貢献する「桃李の人\*」を育てる

\*「成蹊」の名は、中国の諺「桃李不言下自成蹊」に由来しています。桃や李は人徳のある人のたとえて、優れた人格を備えた人のまわりには、その人を慕って自然と人が集まる、という意味です。「桃李の人」は成蹊が理想とする豊かな人間性と実力を持つ人を表しています。

この最終目標を達成すべく、各設置校・法人が定めた部門目標は次の通りです。

#### － 大 学 －

新しい時代に対応した教育活動と活力のある研究活動を推進し、  
持続可能な社会の実現に貢献する。

#### － 中学・高等学校 －

リベラルアーツ教育を推進し、新たなものを創造する「O to I」の発想が育つ教育を実践する。  
サステナブルな活動を通して、困難を乗り越える「心の力」を育み、  
国際社会で活躍・貢献できる人材を育成する。

#### － 小学校 －

幅広く深い学びと、困難を乗り越えながら心身を鍛える経験を通じ、  
豊かな感性とたくましい実践力をもった子どもを育てる。

#### － 法 人 －

未来に向けて継続的に発展する総合学園となるために、  
ワンキャンパスの優位性を活かし、経営基盤を強化することで各設置校を支援する。

次ページ以降では、上記目標の達成に向けて取り組んだ重要施策を中心に、各設置校及び法人が2024年度に推進した事業内容について報告します。

# I. 大学

本学では、2024 年度も各評価指標の年度目標達成に向けて様々な事業に取り組みました。その代表的なものは、以下の通りです。

2026 年度設置構想中の新学部「国際共創学部（仮称）」の開設に向けて、理念・ポリシー、教育課程、教員採用、入試制度、広報活動、施設改修等、様々な面から検討を行いました。文部科学省事前相談の結果、届出での設置が可能と判定されるとともに、文部科学省が推進する「大学・高専機能強化支援事業」にも選定されました。

また、2026 年度から始まる次期教養カリキュラムについて、教育課程を確定させ、運用開始に向けた方針や授業計画等の検討を行いました。

留学生の派遣・受入れの強化については、協定校の新規開拓、留学促進イベントの実施、受入留学生の増加を見据えた学生寮の建設構想等、様々な事業に取り組みました。

2024 年度後期からは大学新 11 号館の使用を開始し、1 階・2 階に広がる大規模ラーニング・コモンズでは、各種オープニングイベントを開催しました。

上記の他、研究、学生支援、社会連携の各重要施策においても、年度目標の達成に向けて、それぞれの行動計画を実行しました。



## (1) [教育]新しい時代に対応した教育活動の推進と教育環境の整備

### — 教育活動推進編 —

#### ①新たなグローバル教育施策の検討

第1次中期計画で掲げられた「グローバル人材の養成」は、大学においては、主に2020年度より開始されたグローバル教育プログラム「EAGLE (Education for Academic and Global Learners in English)」として結実しました。2022年度以降、このEAGLEの発展的な展開について検討した結果、2026年度からの国際共創学部(仮称)の設置と学部横断型の「成蹊グローバルスタディプログラム(GSP)」の導入に至りました。国際共創学部(仮称)については、2024年6月に文部科学省へ学部設置の事前相談書類を提出し、同年8月に「届出による設置が可能」という判定を受けました。また、同年6月には文部科学省が推進する「大学・高専機能強化支援事業」に選定され、完成年度まで複数年にわたり数億円規模の助成を受けることが決定しています。これらを踏まえて、国際共創学部(仮称)設置委員会の下、学部設置の理念、教育課程、施設設備の改修計画、入試制度等の検討、また、教員採用、広報活動等に着手しました。また、2025年3月に収容定員変更の認可申請を行い、2025年4月の学部設置届出の準備を完了しました。

#### ②留学派遣の拡充(短・中・長期留学)

中期計画の目標としては、「海外に派遣する協定校数を充実させるとともに、より多くの学生が参加したいと思える環境を整えることにより、2028年度において留学派遣者数410名(うち、中・長期留学80名)」を目指しています。

2024年度の目標は、留学派遣者170名(うち、中・長期留学60名)でした。これに対して実績は、留学派遣者209名(うち、中・長期留学50名)となり、全体数の目標は達成できたものの、中・長期の派遣が目標を達成できませんでした。経緯等につきましては以下の通りです。

- ・世界的物価高と継続的な円安が中・長期留学の希望者数の伸長に影響を与えています。
- ・さらに、就職活動の早期化が大きな影響を与えています。一般的に3年次の夏期休業期間中にインターンシップを行うため、3年次前期にはその選考活動が開始されます。これにより、中・長期留学をすることに躊躇する学生が多く見られます。
- ・一方で、ニュージーランドのオークランド大学や韓国の高麗大学、ドイツのミュンヘン大学等への短期留学プログラムの参加者は多く、留学派遣者の全体数を引き上げています。
- ・本学では初の開催となる「留学&国際交流フェス」をはじめ、派遣留学生数の増加につなげるための取組を行いました。

#### ③受入留学生の多様化と拡充(中・長期留学)

中期計画の目標としては、「協定校数の増加、受入体制(宿舍、授業の拡大等)の整備等に取り組み、2028年度において42名の協定留学生の受入」を目指しています。

2024 年度の受入留学生の目標は 29 名でしたが、44 名の実績をあげ、目標を達成することができました。これは、円安傾向が継続しており、来日しやすい環境にあることと、引き続きコロナ禍で留学を控えていたインバウンドの留学生が多数見られることが要因となっています。国際教育センターも海外協定校を増加させることに加え、受入体制の整備を進めており、新たな国際教育センター常勤講師（日本語担当）の増員のための採用活動を行いました。

#### ④新しい時代に対応した教養カリキュラム(リベラルアーツ教育)の検討

2020 年度（理工学部においては 2022 年度）から教養及び専門の新しいカリキュラムを導入しましたが、この点検・評価を行った上で、新しい時代に対応した次期カリキュラムを導入することは、本学にとって最重要課題の一つです。2022 年度に、成蹊教養カリキュラムの次期改編をはじめ、アフターコロナまでを見据えたオンライン教育の方針、チームによる教育活動の推進など、様々な課題を包括的に検討する「教育改革プロジェクト」を設置。2023 年度までのおよそ 2 年間にわたり、現行カリキュラムにおける課題の洗い出しと改善策の検討や次期教養カリキュラムの編成を集中的に行いました。

中期計画の目標としては、「2026 年度に予定している新学部の開設に合わせて、次期成蹊教養カリキュラムを導入するとともに、「持続社会探究」科目履修率 100%及び学生の教養教育授業満足度が新旧カリキュラムを比較して向上している状態」を目指しています。

2024 年度は、2026 年度から始まる新たな教養カリキュラムの導入に向けて、学務システムの改修、規則改正、授業計画構想など、各種準備を進めました。

#### ⑤副専攻制度の拡充

中期計画の目標としては、「全ての学生が、本人の主専攻・副専攻を意識した履修登録を行えるよう、新しい時代に対応した副専攻を提供することができており、2028 年度において副専攻修了者数が 2025 年度時点より増加している状態」を目指しています。

2024 年度は、副専攻の修了者数を 2023 年度より増やすことを目指していましたが、目標達成には至りませんでした。その要因の一つとして、2024 年度は 2023 年度に比べオンライン授業の開講科目数が減少したことが挙げられます。また、新カリキュラムにおいて、新しい時代に対応した副専攻を検討しました。

#### ⑥専門教育の検証と充実化の取組

2020 年度に新しい経済学部と経営学部を設置し、法学部・文学部についても同時期に新しいカリキュラムをスタートさせ、2023 年度に完成年度を迎えました。理工学部については、2022 年度より 1 学科 5 専攻に生まれ変わり、理工学科としてのカリキュラムを 3 年間運用しました。こうした各学部のカリキュラムを学年進行に応じて検証するとともに、次期教養カリキュラムの内容を踏まえつつ、それに連動する形での見直し・充実を図ります。併せて、大学院研究科についても、必要に応じて、カリキュラム等の検証を行います。

中期計画の目標としては、「次期教養カリキュラムと連動し、新しい時代に対応した学部専門科目が充実しており、学生の専門教育授業満足度が新旧カリキュラムを比較して向上している状態」を目指しています。

2024 年度においては、次期教養カリキュラムの内容を踏まえて、各学部の教育の特色を打ち出した新しい学部カリキュラムの検討を行い、全貌（概要）を形成しました。

## — 教育環境推進編 —

### ①新棟ラーニングコモンズの検討

2024 年 9 月にラーニングコモンズをオープンし、「新アクティブラーニング推進プロジェクト」が主体となり、「学生の学び合い」のあり方を主軸としたラーニングコモンズの運用方法等を検討の上、具体的な運用ルールを整備しました。また、ラーニングコモンズの利用促進を目的として、以下の取組を行いました。

- ・学生ラーニングコモンズ運営委員会と連携し、各エリアの活用方法や什器について検討を継続しました。
- ・新アクティブラーニング推進プロジェクトで様々なイベントを企画し、学生の授業期間である 2024 年 10 月～2025 年 1 月末までの約 4 カ月間でイベントを 19 回開催（延べ参加人数 461 名）しました。
- ・4 月からライティング指導を行うアカデミックインストラクターを先行配置し、10 月からは ICT スキルの指導を行うアカデミックインストラクターを配置するなど、2 名体制で学生への指導を行いました。

### ②新しい時代の教育・学修等に対応した ICT 設備・システム・教室設備等の整備

#### — ICT設備・システム —

2023 年度に導入された新教育視聴覚設備について、2024 年度も大きな問題はなく安定稼働させることができました。2023 年度末に収集したアンケートや学生から届いた要望等に基づき、必要な ICT 設備を導入し、よりよい環境の構築に努めました。スタジオについては安定稼働しているものの、まだ認知度や稼働率が低いいため、利用拡大に向けた体験会や説明会を実施しました。

2024 年度末で教育システムのリース期間が終了し、PC 教室を含む学内に設置しているパソコンを撤去するため、学生に対しパソコン必携化を推進しました。具体的には、学生が必要なソフト、ハード等のインフラの整備を進め、それらをサポートする「サポートデスク」の体制を更に強化しました。

#### — 教室什器 —

教室什器については、新しい時代の教育・学修に対応するため、什器の使用年数等を踏まえたリニューアル計画を策定し、これに基づいた整備を進めました。2024 年度の取組結果は以下の通りです。

- ・2025 年度に PC 教室の 70%以上を一般教室化することを目標としていましたが、学生が自身のパソコンを授業に持参する BYOD (Bring Your Own Device) の運用が安定したことを受け、計画を前倒しするとともに、その対象範囲を広げ、2024 年度中に全ての PC 教室を一般教室化しました。また、今回の改修では、多様な形態の授業に対応できるよう、可動式の什器を採用しました。
- ・使用年数が 20 年以上の教室什器について、その 40%を 2025 年度までに、その 80%を 2028 年度までに更新することを目標とし、2024 年度は大学 4 号館の教室什器を更新しました。今回の更新では、教育・学修により適した什器を選定したほか、通路を増やすことで動線を改善しました。また、同館を授業だけでなく、講演会や説明会の会場としての使用も鑑み、館内の色合いの調整などを行いました。

※大学 4 号館（改修後イメージ）



### ③学修成果を高めるための授業改善等に向けた FD 活動の拡充

2023 年 10 月 1 日から 2024 年 9 月 30 日の期間目標（専任教員の FD 研修会参加率 90%以上）を達成するため、全学 FD 委員会を通じて各学部長へ働きかけつつ、専任教員参加率 100%達成に向けた環境づくり（FD 活動期間の設定等）を検討、実施しました。その結果、専任教員の研修会参加率 100%を達成しました。

2024 年 10 月 1 日から 2025 年 9 月 30 日の期間も引き続き専任教員の FD 研修会参加率 100%を目指すべく、各部署とも連携し、積極的に FD 活動を共催し、2024 年 10 月には高等教育開発・支援センター主催・共催の FD 研修会や各学部主催の授業研究会等を企画・実施しました。また、全学 FD 委員会を通じて各学部主催の FD 研修会や授業研究会の開催を呼び掛けました。

### ④新しい時代・新教育課程に応じた入試改革の検討

中期計画の目標としては、「学内の入試体制の点検を強化し、改善につなげることで体制を整備できている状態」を目指しています。

2024 年度においては、2023 年度から継続して学内の入試体制の点検を強化し、その結果として「E 方式において経済数理学科と理工学科を 2026 年度から併願可とする」ことを決定しました。

また、学長・学長室長・アドミッションセンター長及びアドミッションセンター事務室執行部による懇談会を通じて、現行の各入試制度における問題点を整理し、今後の入試体制の方向性について検討しました。また、懇談会の議題に応じて、各学部のアドミッションセンター運営委員(学部長が推薦しアドミッションセンター長が任命する委員)で構成するセンター運営委員会を適宜開催し、学部からの意見集約と共有を図りました。

## (2) [研究] 研究活動のさらなる活性化と研究成果の発信強化

### ①科学研究費及びそれ以外の競争的資金の採択数向上への取組

科学研究費等の外部資金獲得に向けた取組や支援を強化するとともに、採択数における定量的目標を掲げることで、教員の研究活動の更なる活性化を図っています。

2024 年度においては、科学研究費補助金とそれ以外の競争的資金を合わせた採択数が、2017～2022 年度の平均値を上回ることを目標とし、結果は 40 件で 2017～2022 年度の平均値 33.2 件を上回ることができました。

また、研究支援として、次の 4 つの施策を実施しました。

- (1)科学研究費採択率の向上を目指す施策「研究ステップアップ助成金」を実施し、助成を希望する研究者 4 名に対して一人当たり 30 万円の助成を行いました。
- (2)科学研究費採択率の向上を目的とする施策「研究デザイン助成金」を実施し、助成を希望する研究者 3 名に対して一人当たり 20 万円の助成を行いました。
- (3)2024 年度より、外部研究費獲得者を表彰する施策「成蹊大学リーディングリサーチャー称号付与」を実施し、7 月に 3 名、3 月に 2 名、合計 5 名の研究者を表彰しました。

### ②本学の特色ある研究機関の公開イベントの拡充

機関レベルとしては、アジア太平洋研究センターや Society 5.0 研究所等、本学の特色ある研究機関の研究成果等の発信力を高め、社会的認知を更に向上させています。

中期計画の目標としては、「前半の 2023-2025 年度においては、アジア太平洋研究センター及び Society 5.0 研究所が開催する公開イベントの件数と参加者数が、基準年度(2022 年度)を上回ること、後半の 2026-2028 年度においては、2023-2025 年度の平均値を上回っている状態」を目指しています。

2024 年度の参加者数は合計 1,509 名となり、2022 年度の 698 名を上回りました。また件数は計 13 件となり、2022 年度の 9 回を超えることができました。

### ③図書館 DX(デジタルトランスフォーメーション)推進計画の取組

#### ー コレクション資料の公開と貴重書電子化の取組 ー

新しい時代に対応した教育・研究を志向する上で、図書館の DX(デジタル・トランスフォーメーシ

ョン)化は欠かせません。中期計画の目標としては、「コレクション資料公開と貴重書の電子化に関して、①2号館書庫に滞留する未登録コレクション資料の図書館システム登録が進んでいる、②貴重資料や劣化資料を電子化する優先順位が付けられている、③未電子化の貴重書のうち洋書を中心に電子化が行われ公開されている、④貴重書等デジタルアーカイブの公開を通じて持続可能な社会の発展に貢献している、以上の4点を掲げ、2028年度において、2号館書庫未登録資料の調査・整備が進んでおり、貴重書画像データベースが整備され、充実した内容になっている状態」を目指しています。

2024年度は以下の取組を行いました。

- ・2号館書庫未登録資料のうち、三菱史料の整備、登録を行い、順次公開を開始しました。また「中村正直文庫」全冊の整備と登録が完了し、公開を始めています。
- ・洋書を中心とした貴重書画像データベースの整備に向けて、2025年度の公開に向けた準備が整いました。

#### — 電子書籍の充実化と書架ひっ迫解消の取組 —

中期計画の目標としては、「電子書籍の充実化と書架ひっ迫解消の取組に関して、①電子書籍タイトル数及び内容を充実させる、②重複調査が実を結び、重複本やそれに準じる資料の除架が進んでいる、③これら施策の結果として除籍が進み、自動書庫を含む書架のひっ迫状況が解消され、カビ付着リスクも低減している、以上の3点を掲げ、2028年度において、各種データベース、電子ジャーナルの見直しが概ね完了し、今後の課題が明確になっている、また、利用者の要求や時代の要請に即した電子書籍タイトルの選定及び購入を進めている(年間200タイトル以上)、さらには、所蔵資料の重複調査と除籍作業が整備・完了している状態」を目指しています。

2024年度は以下の取組を行いました。

- ・各種データベース、電子ジャーナルについて、利用統計を取得し、利用頻度の低いものの契約見直しを行いました。
- ・2023年度に引き続き、学生や教職員からのリクエストも含めて、電子書籍タイトルの購入を進めました。(547タイトルを購入)
- ・除籍作業について、代替手段が存在するマイクロ資料を中心に除籍作業を進めました。また複本・版違いなどの重複図書の除籍を進めました。

### (3) [学生支援] 学生の成長を支えるための方策や体制の拡充

#### ①学生の学修成果の可視化に向けた取組

新しい時代に対応した教育・学修を考える上で、大学がその教育成果を把握・検証するだけでなく、学生が自身の学修や課外活動等を通して得られた成果や課題を可視化し、今後の学びや進路選択に活かしていけるような新たな学修支援の仕組みについて、順次実施していきます。

中期計画の目標としては、「学生の学修成果の可視化に向けた取組により、多くの学生が、自ら身に付けた資質・能力を把握・分析できるよう、2028 年度においては、学修成果の可視化ツールの一つであるオープンバッジの発行数が 2025 年度実績を上回るとともに、学修成果の可視化に資する取組が拡充している状態」を目指しています。

2024 年度においては、学生に対しオープンバッジの周知を図りました。その結果、2023 年度オープンバッジの発行数が 33 種類計 627 バッジであったのに対し、2024 年度は 34 種類計 783 バッジ(前年度比 124.9%)となり、2023 年度実績を上回りました。また、「成長する成蹊大学生の図鑑(Web サイトと冊子)」について、2023 年版から内容を更新し、冊子の学内配布を行いました。また冊子は、各学部の初年次教育でも配付することとし、初年次教育科目担当教員から、1 年生学生全員に配付しました。

## **②ボランティア支援の拡充**

本学では、ボランティア支援センターを設置し、社会問題への気づきや人間的な成長のきっかけなどを与えてくれる学生のボランティア活動を推奨しており、今後も積極的に支援していきます。

中期計画の目標としては、「学生の自主性・積極性を養成するボランティア支援プログラムの充実に取り組み、2028 年度において、主要なボランティア支援プログラム数 16、参加者満足度 80%以上」を目指しています。

2024 年度は、主要なボランティア支援プログラム数 25 件、参加者満足度の平均値(満足度調査を実施したプログラム 25 件の平均値)98.7%を達成しました。

## **③学生主催イベント(学内競漕大会・学内運動競技大会・樺祭)の参加者満足度向上への取組**

体育会本部・文化会本部・樺祭本部の学生上部団体が主催する各種イベントは、学生の本学への帰属意識の向上に大きく寄与するものであり、本学としても、学生の主体性を見守りつつ、その充実に向けて積極的にバックアップしています。

中期計画の目標としては、「上記学生上部団体が主催するイベント(学内競漕大会・学内運動競技大会・樺祭)の充実化に向けた取組を積極的に支援し、参加した学生の満足度が前年度より向上している状態」を目指しています(※四大学運動競技大会は他大学の意向も反映されるため対象から除外)。

2024 年度の取組結果は、以下の通りです。

・3 つの学生主催イベントに参加した学生の満足度が 2023 年度より向上するよう、学内運動競技大会を従来の 2 日間開催から 3 日間開催に変更するほか、陸上部門において新種目も導入しました。また、キッチンカーを設置するなど、イベントの充実化を積極的に支援しました。その結果、総合的な満足度(『全イベントの「とても満足した」「満足した」と回答した者』/『全イベントの参加者数の合計』)は約 93%となり、2023 年度より 4 ポイント向上しました。

#### ④学生支援(課外活動支援を含む)イベント等の総合的な点検・評価体制の整備

中期計画の目標としては、「各部門で個別に取り組んでいる学生支援イベント等の実施状況を大学として総合的に把握・検証するための点検・評価体制が整備され、充実化に向けて取り組んでおり、授業以外でも学生の成長を促す働きかけが充実している状態を目指します。また、2028年度において、毎年度の点検・評価活動の成果として、複数の改善事例等を挙げることができ、学生アンケートや IR データ等においても学生からの評価が向上している状態」を目標とします。

2024 年度の取組結果は、以下の通りです。

- ・2023 年度に整備した体制の下、学生支援における点検・評価活動を実施し、学生アンケートや IR データを活用しながら、学生支援イベント等の課題解決や充実化に向けて組織的に取り組みました。特に学生部主催のアスリートセミナーを抜本的に見直し、リスク管理体制の強化を行いました。また、ボランティア支援センターは開設 10 周年を迎えたため、過去 10 年の取り組みを振り返り、次の 10 年に向けた基本方針を策定しました。

#### ⑤キャリア教育・支援の体制の充実化に向けた検討

中期計画の目標として、「2028 年度においては、社会のニーズを踏まえたキャリア教育科目群全体の改革が実現できており、かつ、キャリア支援体制がより有効に機能している状態」を目指しています。

2024 年度は、以下の取組を行いました。

- ・キャリア企画執行委員会や MBT プロジェクトチームにて MBT 運営方針、参加企業の追加について検討し、2025 年度は新たにみずほフィナンシャルグループ様と三菱食品様にご協力いただけることになりました。
- ・アントレプレナーシッププログラム(SEP※)について、2026 年度開設に向け、プログラムの制度設計や科目担当予定者等について具体的な検討を行いました。(※SEP:Seikei Entrepreneurship Program の略称)

#### ⑥就職イベント参加者数向上への取組

中期計画の目標として、「就職イベント参加者数の増加が就職実績の向上につながることで、ベンチマーク大学群と比して遜色ない就職実績をあげることができるよう、2028 年度において、就職イベント参加者数(延べ人数)17,000 名」を目指しています。

2024 年度は、学生のニーズを踏まえた就職イベントの充実を図り、参加者数(延べ人数)は 16,823 名となりました。

## (4) [社会連携] 社会・地域等との多様なネットワークの構築と強化

### ①多様な受講者を対象とする生涯学習講座の受講者満足度向上への取組

中期計画の目標としては、「新しい時代に対応した生涯学習講座（公開講座・武蔵野地域五大学共同事業）運営が行われ、本学の提供する講座内容について高い評価（受講者満足度 80%以上）を維持できている状態」を目指しています。

2024 年度公開講座の運営においては、大学の授業におけるペーパーレス化の取組を踏まえ、初めて講義資料を電子化し、ダウンロード形式で配付しました。その結果、受講者の 50%以上が各自で資料を用意いただけるようになりました。また受講者満足度についても下げることなく、全ての回で 80%以上を達成することができました。

### ②武蔵野市等自治体・連携協定大学・各種団体等との連携事業の充実化に向けた取組

中期計画の目標としては、「武蔵野市等自治体、連携協定大学、各種団体等との連携事業が充実し、管理運営上の相乗効果のみならず、成蹊ならではの学びや学生（一部児童・生徒を含む）の成長機会を提供できている、本学の特色の一つとなっている状態を目指しています。また、2028 年度においては、主要協定先との間で新規の連携事業が複数実施され、成蹊ならではの学びや学生の成長機会の提供が充実していること」を目標とします。

2024 年度は、北海道帯広市と連携協力に関する協定を締結しました。双方が保有する資源・情報を有効に活用し、帯広市の産業振興等による地域活性化、成蹊大学の教育力向上による社会有為な人材の育成に寄与する基盤を構築するとともに、学生に対し「本物に触れる」という成蹊ならではの学びと成長機会を提供する体制を整えました。

## (5) 入試・就職

### ①2025 年度入学試験の状況

大学全体の入試結果は、一般選抜・学校推薦型選抜・総合型選抜を合わせた全ての志願者数が 23,313 名（前年度比 104.1%）となり、2024 年度入試より 928 名増加しました。これにより、志願者数は 2 年連続の増加となりました。これは、学外受験会場として新たに千葉会場を設けたこと、広報強化（受験生向け大学案内サイトの構築、オープンキャンパスの充実）によって本学の学びが認知されたこと、本学の特長であるキャリア支援・就職支援の充実を広報展開で強調できたことなどが要因と考えられます。

学部別では、経済学部が 4,406 名（前年度比 139.3%）、経営学部が 4,403 名（前年度比 100.6%）、法学部が 4,622 名（前年度比 91.6%）、文学部が 4,793 名（前年度比 107.9%）、理工学部が 5,089 名（前年度比 95.0%）となりました。

## ②2024 年度卒業生の就職状況

2025 年 3 月 31 日現在、学部卒業生 1,795 名のうち、就職希望者数 1,642 名に対する就職者数は 1,596 名、就職率（就職者数÷就職希望者数）は 97.2%となり、2023 年度と同様に高い水準を維持しました。

また 2024 年度は、インターンシップからの早期選考や本選考そのものの前倒しにより、就職活動の早期化がより一層進んだ 1 年となりました。1day 仕事体験を含むインターンシップへの参加がより一般的となり、9 割近い学生が参加するようになりました。また、インターンシップへの参加にあたっては、エントリーシートや面接の対策が必要となるため、3 年生の個別相談の利用ニーズが一段と高まりました。

このような状況においては、3 年生と 4 年生の個別相談を同時並行で進める必要があるため、2022 年度よりキャリアカウンセラーを弾力的に増員し、支援体制を強化しています。これにより、2024 年度の相談回数は延べ 13,320 回となり、2023 年度の 11,078 回に比べ約 1.2 倍の大幅増となりました。

また、企業の採用活動の早期化や、それに伴う低学年時からのキャリア教育の必要性に対応すべく、様々な新規イベントを企画・実施し、キャリア支援の更なる充実を図りました。

## 2. 中学・高等学校

本校では、2023 年度から 6 年間の第 3 次中期計画において、「リベラルアーツ教育を推進し、新たなものを創造する『0（ゼロ）to 1（ワン）』の発想が育つ教育を実践する。」「サステナブルな活動を通して、困難を乗り越える『心の力』を育み、国際社会で活躍・貢献できる人材を育成する。」の二つを目標に掲げて取り組んでいます。

2024 年度は、2023 年度に引き続き、リベラルアーツ教育を深め、生徒自身の進路実現につなげるべく、「本物に触れる」教育実践や、知的好奇心を向上させる企画の更なる充実に取り組みました。また、探究活動などを通じて、課題に対して新たなものを創造する「0 to 1」の発想を持つ力を育み、「発信力」や「コミュニケーション力」といった非認知能力を磨く取組を推進しています。

また、ユネスコスクールの一員として、SDGs や ESD 活動を推進し、サステナブルな取組を充実させることにより、生徒の共感力と社会貢献への意識醸成を図るとともに、グローバル教育を柱として、留学や国際交流を活発化させることにより、お互いの価値観や考え方の違いを尊重し、国際的視野を養うべく、取り組みました。

### (1) リベラルアーツ教育とキャリア教育を連携させ、一人一人の個性を伸ばす進路実現を推進する

本校では、これまでも「本物に触れる」実践や知的好奇心を向上させる取組を実践してきました。これらの取組を時代に即して進化させ、それにより培ったリベラルアーツをキャリア教育につなげる取組へと進化させること、そして、生徒の学力を測りながら、「個性の尊重」が実現できる生徒個々に応じた多様な進路実現の具現化を目指しています。

2024 年度は以下の取組を行いました。

- ・「本物に触れる」教育実践、知的好奇心を向上させる企画を 139 件実施し、延べ 18,391 名もの多くの生徒がこれらの企画に参加しました。またその中で、リベラルアーツ教育をキャリア教育と結びつけていく取組を 37 件実施しました。
- ・生徒個々の基礎学力の習得を徹底すべく、学力推移調査の対象学年を中学 1～3 年の全学年に拡大して実施しました。また、この結果を踏まえた分析会を開催し、教員間で課題を共有の上、課題解決に向けた授業改善に取り組みました。
- ・生徒個々の進路実現の達成度の上昇を目指し、キャリア教育につながる企画の実施やきめ細かい個別の進路指導に取り組んだ結果、現役合格率が 78.5%、各種推薦進学者が 53.7%となり、高い進学率となりました。

## (2) 「0 to 1」の発想力を培う探究学習を組織的・系統的に導入し、偏差値では測れない非認知能力を伸ばす環境を整備する

本校では、探究学習の推進に力を入れており、中学1年から高校2年までの各学年に「探究学習」を取り入れて、学習の組織化・系統化を図っています。また、「成蹊スタートアッププロジェクト」として、スタートアップ（起業）、コーポレート（企業）、SDGs（社会課題）の3つの柱を中心とした課題解決型学習のメニューを充実させ、より多くの生徒が参加できる機会を増やしました。それにより「0 to 1」の発想力を培い、その能力を発揮した成果を校内外での発表機会を通じて幅広く公開していくために、2024年度は以下の取組を行いました。

- ・中学校では「道德の時間」などを活用して「探究学習」を実施しており、地域や企業と連携し、武蔵野市の課題と解決策の取組成果を武蔵野市副市長にプレゼンするなど、成果発表の機会を通算15回実施し、学習の深化を図りました。
- ・高校の1・2学年に導入している「探究学習」では、成果発表の機会を通算20回実施し、「第23回全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」で準グランプリを受賞するなどの成果につながっています。
- ・大正製薬株式会社や株式会社紀伊國屋書店と連携した探究学習プログラム、卒業生による講演等、生徒個々の「勤労の実践」への意識を高めるべく、企業や卒業生と連携する取組を26件行い、取組の充実を図りました。
- ・五島列島で「成蹊スタートアップキャンプ」を実施した他、各学年の探究学習、国語や家庭科等の各教科の課題学習の中で、スタートアップ、コーポレート、SDGsに関する課題解決型学習に取り組みました。こうした取組を通じて「0 to 1」の発想力を培い、その成果発表を行った生徒の数は、校内で延べ2,648名、外部の大会では、延べ120名に上っており、着実にエビデンスを獲得しています。

## (3) ユネスコスクールの取組などサステナブルな活動を通して、共感力を養い、互いを認め合う「心の力」を育む施策を導入する

SDGsの活動やサステナブルな取組を通じて、生徒たちの共感力を養うとともに、ダイバーシティを踏まえた取組により、困難を乗り越える気持ちを育成し、多様性を認める「心の力」を育むべく、2024年度は以下の取組を行いました。

- ・共感力を高め、「品性の陶冶」の精神を浸透させるべく、SDGs活動の取組やそれに関する啓発活動を107件実施しました。

- ・学園サステナビリティ教育センターの「けやき循環プロジェクト」に参画し、樺の落ち葉集めやそれを利用した焼き芋の企画を実施したほか、「ユネスコスクール関東ブロック大会」で発表を行いました。また、「武蔵野環境フェスタ」への参加などを通じて、学園のユネスコスクールの取組に参画し、中学・高校のサステナブルな取組の発展を目指しました。
- ・高校では、「ダイバーシティ週間」を実施し、多様性理解について考える機会を設け、ダイバーシティの考え方の浸透と取組推進に努めました。また、LGBTQ の留学生を受入れ、ダイバーシティを理解する国際的な感覚の醸成にも取り組みました。

#### (4) 生徒全体の英語力を向上させ、成蹊独自の国際理解教育の推進を図る

帰国生を含め、多くの生徒の英語力を向上させる系統的な取組を行い、その成果を分析しました。また、海外に派遣する取組への参加生徒数を増加させるとともに、海外で探究的な学習が学べる体制を整備すべく、2024 年度は以下の取組を行いました。

- ・英語の基礎力向上を図る講座の開講や、グローバルスタディーズプログラム、イングリッシュシャワープログラム、プレグローバルスタディーズプログラム等、学年や英語習得レベルに応じた英語プログラムを実施し、より多くの生徒が国際交流を体験できる環境を提供しました。
- ・英語 4 技能の向上が測れる取組として、GTEC 検定版を実施し、その結果、高校 2 年生で CEFR の B1 レベルに達した生徒の割合が 54.8% となり、高いレベルとなりました。また、英語の学力推移調査も実施し、英語力全体の更なる向上を目指して結果の分析を行いました。
- ・ターム留学プログラムをはじめ、海外への生徒の派遣留学の充実を図り、特に中学生の海外留学機会を充実させるべく、新たに中学 2・3 年生を対象としたニュージーランド短期留学研修プログラムをスタートさせ、長期・短期合わせて 149 名の生徒を海外に派遣しました。またインドネシアからの留学生の受入れを定期的なものとするなど、海外からの留学生の受入れにも積極的に取り組み、受入人数は計 27 名となりました。また、国際交流に関する国内企画には 1,062 名の生徒が参加し、海外派遣留学への動機づけとなっています。
- ・海外をフィールドとした「探究学習」を推進するため、春期のカリフォルニア大学デービス校（UCD）短期留学プログラムにおいて探究学習を行ったほか、新たにスタートしたニュージーランド短期留学研修プログラムにも探究学習を取り入れました。

## (5) 新しい教育に応じた教育環境を整備して、 広報活動を更に充実させ、高い入試倍率を維持していく

ICT 機器を活用したプレゼン発表や学校行事等の機会増加に対応できるよう、新たな教育環境の整備計画に取り組みました。また、こうした教育実践や成蹊の魅力を発信し、高い入試倍率を維持すべく、2024 年度は以下の取組を行いました。

- ・ ICT 教育環境整備の一環として、2025 年度に PC 教室をアクティブラーニング用教室に改修する計画を策定しました。
- ・ ICT 機器を活用した授業手法を学校全体で共有するため、教員間の授業相互見学期間を年間に 5 回設け、教員の ICT スキルの向上と授業の改善に取り組みました。また、生徒の ICT 機器を活用した発表機会も増加しており、学校全体の ICT スキルのレベルアップに繋がっています。
- ・ 探究学習の成果発表機会を定例的に設けるなどにより、学校行事を 79 回実施することができました。
- ・ 学校の取組を紹介した広告記事のほか、取材等にも積極的に対応し、記事への掲載が 76 件となりました。また、成蹊の魅力を広く知ってもらうため、校長ブログ「百代の過客」に学校の取組や生徒の活動記事を 37 本掲載し、成蹊の今を発信しました。
- ・ 学校説明会等、校内外で積極的に入試広報活動を行いました。中学校では、入試の日程を一部変更し、志願者数の確保につなげました。その結果、合格最低点、入試倍率共に維持することができました。

## (6) 入試・進学実績

### ①2025 年度入学試験の状況

#### ・ 高等学校

2025 年度一般入試の志願者数（帰国生・推薦を除く）は 169 名（2024 年度 173 名）、受験者数は 163 名（2024 年度 166 名）と微減しました。帰国生入試では、10 名が入学しました。また、2019 年度入試から導入した推薦入試では、32 名（2024 年度 22 名）が入学しました。

#### ・ 中学校

2025 年度入試の第 1 回と第 2 回を合わせた志願者数（国際学級を除く）は 790 名（2024 年度 801 名、2023 年度 945 名）、受験者数は 548 名（2024 年度 549 名、2023 年度 663 名）でした。志願者数は減少傾向にあるため、水準の維持・向上に努めます。

合格最低点は高水準を維持できており、特に第 2 回の合格最低点は、男女とも高いレベルとなりました。これは、リベラルアーツや探究学習、国際理解教育を重視する本校

の教育内容への評価、幅広い入試広報活動等が主な理由として考えられます。

近年は、受験前に何度も本校に足を運び、環境だけでなく生徒や教員の様子を確認し、学校に対する理解や安心感を持った上で入学を決める傾向にあり、より多くの受験生やその保護者に来校してもらうことが重要であると認識しています。

## ②2024 年度卒業生の進学状況

### ・高等学校

卒業生 326 名のうち、現役進学者数は 256 名（78.5%）となりました。成蹊大学への内部推薦による進学者数は 89 名（卒業生の 27.3%）でした。難関国公立大学（東京大学、京都大学、一橋大学、東京科学大学、国公立大学医学部）への現役進学者数は 4 名（既卒を含めると 6 名）でした。

国公立大学の合格者数は計 14 名（既卒を含めると 23 名）で、合格先は、東京科学大学、筑波大学、東京農工大学に各 2 名、東京大学、東京藝術大学、横浜国立大学、千葉大学、東京学芸大学、東京都立大学、はこだて未来大学、都留文科大学に各 1 名となりました。難関私立大学の合格者数は、早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学の 3 大学に計 68 名（既卒を含めると 79 名）、また、医・歯・薬・獣医学部の合格者数は計 40 名（既卒を含めると 75 名）となりました。

### ・中学校

卒業生 263 名のうち、成蹊高等学校への内部推薦による進学者数は 249 名で、卒業生の 95%（2023 年度 92%、2022 年度 92%）となりました。これは、基礎学力の向上だけでなく、高校生活についての紹介等、日頃から様々な工夫を重ねてきた結果と考えられています。外部の高等学校への進学者数は 14 名（2023 年度 20 名、2022 年度 23 名）となりました。

### 3. 小学校

---

第3次中期計画では、「幅広く深い学びと、困難を乗り越えながら心身を鍛える経験を通じ、豊かな感性とたくましい実践力を持った子どもを育てる。」を掲げました。その中で、2023年度に引き続き2024年度も、「国際理解教育」と「一貫連携教育の推進」に力を入れました。英語の力を身につけるとともに、日本文化を理解しながら多様な文化や価値観に触れることのできる国際理解教育は、世界で活躍できる国際感覚を身に付けた子どもたちを育てる上で欠かせない取組だと考えています。また、学園内の中高生や大学生など、異年齢の生徒・学生たちと共に本物に触れる学びを経験する「一貫連携教育」は、知的好奇心の種まきや、すでに本校で行われている「卒業研究」をはじめとした探究活動をより強固にするものと考えています。110年間継続してきた成蹊教育を継承するとともに、成蹊小学校の特色である、本物に触れる教育や創意工夫を凝らす深い学び、そして、行事等を通じた鍛錬教育に力を注ぎ、心身共に調和のとれた人格形成の基礎を築くことができたと考えています。

#### (1) 国際理解教育の推進

2024年度のオーストラリア体験学習（ブリスベン、オーストラリア東部）は計画どおりに実施し、予定していた人数の参加者を派遣することができました。現地での様々な体験を通して、参加児童一人ひとりにとって国際理解を深めるよい機会となりました。

2023年度に実施したグローバル・スタディーズ・プログラムの事後アンケートでは、「参加前より英語が好きになったか」の質問に、「変わらない」または「嫌いになった」と回答した児童が複数名いました。そこで、2025年度からは「国際理解国内プログラム」と統合した本校オリジナルの新たなプログラムを導入するべく、検討を進めています。2024年度はそのパイロットプログラムとして、5年生を対象に本校教員と英語科のオーストラリア人関係者による「オーストラリアのお菓子作り」を実施したところ、参加児童から大変好評を得ました。

#### (2) ESD・SDGs活動や一貫連携教育を活用した探究活動の充実

本校では、小学校から大学院までがワンキャンパスに集う総合学園としてのメリットを活かし、運動やスポーツを通じた交流を積極的に活動・展開してきました。

2024 年度は、2023 年度迄に行った活動のうち、「落ち葉拾い・焼き芋大会」や「ロボット教室」など、教育効果に資する一貫連携教育プログラムを精査し、継続して取り組みました。その結果、学園及び各校の協力のもと、目標としていた年間 6 回を大きく上回る、計 27 回の実施に至りました。

また「学校として参加するアワード」については、児童の活動を支援し、励みとなるよう、各種アワードへの参加を積極的に促しました。その結果、2023 年度に引き続き「東京都児童生徒発明くふう展」などで複数の児童が入選を果たすことができました。学校単位で応募できるアワードは限られているため、今後も団体で応募できるアワードのリサーチを続けていきます。

更に日々の教育活動においても、株式会社ユニクロと提携した特別授業の実施や、こみち科での「醤油・味噌づくり」など、探究活動へのつながりを意識した ESD や SDGs に関する活動を多数実施しました。

### (3) 教育力の充実

本校では、長年にわたり培われてきた成蹊教育の継承に加え、20 年先を見据えた教育も推進しています。

まず、成蹊教育の継承としては、「師弟の心の共鳴」の上に全ての教育があることを教員が常に意識するとともに、本校の考える「個性の尊重」の意味を、在校生保護者だけでなく、受験生保護者にも積極的に伝えてきました。

また、「20 年先を見据えた教育」では、2022 年度に文部科学省の GIGA スクール構想で 3 年生以上に導入したタブレット (iPad) を活用することで、授業の ICT 化に取り組んできました。2024 年度は、日本私立小学校連合会主催「東京地区教員研修会」の会場校となったことを契機として、デジタル機器を活用した多くの研究授業を行うことができました。

## 4. 法人

本学園の法人部門は、各設置校が魅力ある教育・研究活動を行えるように資源投入を行い、支えることが重要な役割です。2024年度は、第3次中期計画に基づき、「ガバナンスの向上」、「成蹊ブランド向上を目指した情報発信の強化」、「多様な人財がいきいきと活躍する職場環境の構築」、「サステナブルなキャンパス、学校間連携支援」、「情報化・DX推進のための基盤強化」、「財政基盤の維持強化」に取り組み、ワンキャンパスの優位性を活かした経営基盤の強化を図りました。

### (1) ガバナンスの向上

未来に向けて継続的に発展する総合学園として、ガバナンスの一層の向上を目指し、2023年度に引き続き、理事会・評議員会の実質的かつ効率的な運営や、権限の明確化を更に進めました。それとともに、理事・評議員・監事をはじめとした学内外の関係者へより多くの情報を定期的に発信するため、学外理事・監事・評議員宛に各学校のニュースを中心としたメールマガジンを16通配信しました。なお、年度末にメールマガジン受信者に対してアンケートを実施し、配信内容と頻度の適切性について確認しました。

また、学園運営上の意思決定プロセスの適正化、迅速化を推進するため、私立学校法の改正に沿って、学園長と常務理事の権限を整理し、規則改正を行いました。さらに、より一層のコンプライアンス意識の向上と、リスクに強い組織体制の構築に向け、新任教職員を対象とした情報セキュリティ研修及びコンプライアンス研修を実施しました。また、全教職員を対象とした別内容の情報セキュリティ研修及びコンプライアンス研修も実施し、組織全体としての意識醸成を図りました。

### (2) 成蹊ブランド向上を目指した情報発信の強化

成蹊教育の強みを訴求するため、2024年度は新たに開発したスローガンを基に映像コンテンツを制作し、特設サイトにて公開しました。併せて、創業者・中村春二没後100年、吉祥寺移転100年を契機とした広報や、2026年4月の開設を構想している国際共創学部（仮称）に関する広報など、成蹊ブランドの向上を目的とした広報施策を展開しました。

また、成蹊教育をテーマとしたオリジナルストーリーである「成蹊学園オリジナル3Dプロジェクトマッピング」を本館大講堂にて開催し、延べ約4,220名が来場しました。エンターテイメントの手法を用い、受験生やその保護者、近隣住民へ成蹊教育をわかりやすく

発信するとともに、在学生・卒業生にとっても帰属意識を高める機会となりました。

さらに、プレスリリースや学園、各学校のホームページを通じたニュース配信においては、各学校・各部署と連携して情報収集の体制を整備するなど、情報発信の強化を図りました。メディアリレーションの強化にも取り組んでおり、2025 年度の「記者懇談会」開催に向けた準備に着手しています。

### (3) 多様な人財がいきいきと活躍する職場環境の構築

本学園では、ダイバーシティ推進を実行性あるものとして一層加速させ、様々なバックグラウンドを持つ人材が一つのキャンパスに集まる本学園の強みを活かすことが、今後の競争力強化とサステナビリティの実現に欠かせないと考えています。こうした認識のもと、これまでの活動を更に発展させるべく以下の課題に取り組みました。

第一に、教職員の働き方改革の推進として、総労働時間の現状を把握し、縮減に向けた課題を解決するため、特に社会問題化している教員の長時間労働について、宿泊行事の負担軽減や担任業務の負担軽減などの施策を順次実施しました。

第二に、女性管理職比率の向上と、男性の育児参画を促すために、ダイバーシティ推進に関する理解を深める研修機会を設け、ジェンダーに配慮した働き方への意識醸成を図りました。

最後に、魅力ある職場づくりに向けて、2023 年度に発案した多数の具体的な施策アイデアのうち、実現可能性及び影響力の高いものを優先的に実施しました。特に 2024 年度は、昨今の社会状況等を総合的に勘案して、教職員がより安心して業務に専念できるよう、待遇改善に着手しました。

### (4) サステナブルなキャンパス、学校間連携支援

#### ①学園・各学校の施設・設備の維持・更新

大学新 11 号館建設事業は順調に進捗し、予定どおり 2024 年度後期より在学生への供用を開始しました。この建物には、文系・理系問わず学生が集い、共同研修等を行うための「ラーニングコモンズ（トーリウム）」を設けました。また、安全性を第一に、機能的で魅力的なキャンパスの実現に向け、「成蹊学園中期施設設備営繕計画」の更新を行いました。

#### ②エコキャンパス化の推進に基づいた CO2 排出量の削減率

サステナブルな社会に相応しいキャンパスを目指し、本学園では 2030 年度までに CO2 の排出量を 2013 年度比で 46%削減することを目標としています。2024 年度は「学園エコキ

キャンパス化計画」に基づき営繕工事を完了し、8.6%の削減を達成しました。

### ③一貫連携教育の促進のための枠組みの検討とその実施のための情報共有について

第3次中期計画では、第2次中期計画において進めてきた一貫連携教育を更に発展させるため、学内連携を円滑に進めるための組織的な協力体制を構築することで、学内の教育コンテンツ及び人材データを収集・蓄積し、有効に活用できる状態を目指しています。

2024年度は、既存の一貫連携教育に関する活動を継続しつつ、学内の教育コンテンツ及び人材データの収集と新たな活動に共同で取り組むためのプラットフォームを構築しました。

## (5) 情報化・DX推進のための基盤強化

各学校のICT教育の拡充を支える学園ネットワーク（NW）環境の整備と、情報セキュリティ対策等の強化を引き続き進めました。2024年度の具体的な成果は以下の通りです。

- ・2026年夏期工事予定のファイアウォール、コアスイッチ、アクセスポイント等の大規模な機器更改について、学園ネットワーク整備検討委員会にて議論し、2025年度の業者選定に向けた準備を進めました。また、大学新II号館のネットワーク整備を進めたことで、文系学部と同様に理工学部でも研究室までのネットワークを高等教育開発・支援センターが管理する体制に移行することができました。さらに、理工学部ネットワーク委員会と連携し、理工学部サーバ室内のネットワークを、よりセキュリティの高い構成へと改善しました。あわせて、事務用PC向けの無線LANや学会・イベントで利用可能な無線LANの整備を行い、より快適な無線環境を実現しました。
- ・CSIRTの運用体制について、高等教育開発・支援センターと総務課の連携を強化し、サイバーセキュリティ対策等基本計画の推進に取り組みました。また、小学校児童が扱う各種システムについても多要素認証を導入し、学外からシステムにアクセスする際のセキュリティレベルを高めました。

## (6) 財政基盤の維持強化【収入の多角化・支出の抑制】

第3次中期計画においては、基本金組入前当年度収支差額8億円（事業活動収支差額比率で約5%相当）を達成するため、それに伴う収入増を実現して、財政基盤の維持強化につなげることを目指しています。

2024年度は以下の取組を行いました。

### ①成蹊ファンドの運用

2022 年度より運用を開始した「成蹊ファンド」において、専門家の知見を踏まえリスク管理に十分留意しながら、収入の拡大を図りました。

### ②施設設備使用料収入

各設置校と連携し、教室等の所有施設の貸出しによる施設設備使用料収入が 2028 年度に 7,560 万円（2021 年度比で 2 割増）となることを目指しています。2024 年度の収入は 2023 年度の実績額を基に 5,800 万円を目標としましたが、校舎の工事などの影響もあり、約 5,700 万円となりました。

### ③寄付金額の増加

大学・中高・小学校を中心とした教育活動への支援を募るため、2024 年度も引き続き幅広いステークホルダーへの寄付文化の浸透を図るとともに、学園支援者の輪である「宇は大なり～成蹊教育応援団」の会員とのコミュニケーション機会を拡充することで、支援を継続するモチベーションの向上に取り組みました。その結果、計 925 件 65,801,543 円の寄付が集まりました。

具体的な取組については以下の通りです。

- ・学園吉祥寺移転 100 周年と中村春二没後 100 年にちなんだ「2 つの 100 キャンペーン」を実施し、計 64 件 1,280,000 円の寄付が集まりました。
- ・2023 年度に引き続き学園吉祥寺移転 100 周年特別企画「成蹊けやき募金」を募集した結果、寄付使途「学園環境整備」に計 32 件 6,905,000 円の寄付が集まりました。
- ・「心のふるさと寄付」（卒業生企業からの返礼品付き寄付）の協力企業数を 27 社から 29 社に増やしたほか、既存の協力企業からも計 20 品の新商品を追加し、返礼品ラインナップを大幅にリニューアルしました。その結果、計 279 件 6,615,000 円の寄付が集まりました。
- ・全国の大学が参加する学生団体の資金調達イベント「Giving Campaign 2024」に新たに参加し、大学の課外活動団体へ計 232 件 2,189,000 円の寄付が集まりました。
- ・遺贈の受入体制を強化するため、READYFOR 株式会社との遺贈寄付分野に関する包括提携を開始し、これまで受入れが難しかった有価証券や不動産等の現金以外の資産の遺贈及び包括遺贈に関する相談を受けられるようにしました。

## (7) サステナビリティ教育研究センターの活動

本学園では、2018 年 4 月に成蹊学園サステナビリティ教育研究センター（以下、ESD センター）を設置し、小学校から中学・高等学校、大学までの連携によって、持続可能な開発

のための教育（ESD）を学園全体で推進しています。

2024 年度は、新たに「大学生 SDGs／ESD 活動プロジェクト」を設置し、教科書回収・販売を通して得た利益を途上国の教育支援に充てる活動や、難民映画祭上映会といった学生主導の企画を実施しました。さらに、「地球温暖化とわたしたちの未来」「オーロラと宇宙シンポジウム」「ESD 成蹊フォーラム」など、ESD に関連する様々なイベントを開催することができました。ESD センターが中心となって取り組んでいる「けやき循環プロジェクト」では、在学生からボランティアを募集し、各設置校と連携して、プランター植栽や落葉集め、堆肥作りなどの環境保全活動に取り組みました。また、2023 年度に引き続き、大学教養カリキュラムにおいて、ESD センター賛助会員協力講座として「環境科学トピックス（環境保全と住環境の現在・未来）」を開講しました。

ESD に関わる社会連携としては、客員フェロー29 名、客員研究員 1 名を受入れたほか、ASPUivNet においてユネスコスクールへの加盟を希望する 10 校の支援等を行いました。

## (8) 学園史料館の活動

2024 年度の学園史料館の主な活動は以下の通りです。

### ・企画展示

1925年に開校した旧制成蹊高等学校の開校100年を記念し、2024年11月に特別企画展「旧制成蹊高等学校開校100年ー学びと青春の記録」を開始しました。また、2024年度で実施2年目を迎えた文学部日本文学科による「中村春二・秋香プロジェクト」にて、学生が学園史料館に所蔵されている史資料を調査し、特別企画展「中村春二と関東大震災ーかたい握手に かがやく目と目」を開催しました。

### ・授業支援

2023年度に引き続き、小学校から大学までの様々な授業で学園史料館の利用を受入れ、支援活動を行いました。

### ・卒業生にまつわる展示

卒業生との絆をより強くするため、2023年度に引き続き、直木賞・芥川賞を受賞した卒業生の著書を展示しました。課外活動団体については、卒業生の協力を得て、団体の歴史や活動風景を紹介する資料の展示を行いました。また、成蹊桜祭では学園史料館を特別開館し、卒業生団体である写蹊会・彩蹊会合同の美術展の展示会場として利用しました。

### ・地域との連携

武蔵野市が取得した「瀨家住宅西洋館」について、かつて旧制成蹊高等学校の学生寮「有定寮」であったことから、同施設の利活用や武蔵野市との今後の連携について検討しました。その結果、史料館から同建物へのパネル設置等に関する提案を行うとともに、

2025年4月には武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館主催の「『濱家住宅西洋館』期間限定公開」に協力し、史料館学芸員によるミニ解説、旧赤星鉄馬邸・濱家住宅西洋館・成蹊学園史料館を巡るシール・スタンプラリーを実施することとしました。その他、武蔵野市内にある博物館や美術館、武蔵野地域で活動する諸団体、地域住民との交流や連携を図り、資料提供等を行いました。

・「成蹊学園史料館年報」の発刊

旧制成蹊高等学校の開校 100 年、中村春二と親交の深かった画家 中村<sup>つね</sup>彝の没後 100 年を記念し、学園関係者や卒業生から集めた寄稿文等を紹介しました。

・中村彝画『中村春二像』の展示会への出品

2024 年 11 月から 2025 年 1 月にかけて、茨城県近代美術館で開催された「没後 100 年中村彝展 アトリエから世界へ」に中村彝画『中村春二像』の原画を特別に出品し展示されました。

来館者に関しては、小学校受験を控えた保護者の来館や、創立者中村春二を偲ぶ「枯林忌」の時期には小学校児童の教育目的における来館が目立ちました。また、大学のオープンキャンパスや櫓祭、学園内で開催された枯林忌追悼会では特別開館を行い、来館者を集めました。

## Ⅲ．財務の概要

---

### Ⅰ．学校法人会計について

学校法人の決算書の作成は、私立学校振興助成法第１４条第１項と私立学校法第４７条第１項で求められています。学校法人の決算書は学校法人会計基準に従って作成することとされています。

学校法人が作成する計算書類は、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表とこれらの附属書類から構成されます。

計算書類のそれぞれの目的は、以下の通りです。なお、本報告書の記載順に合わせて説明します。

#### （１）事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、当該年度の事業活動ごとの収入及び支出の内容を明らかにするとともに、基本金組入後の当該年度の全ての事業活動収入及び事業活動支出の均衡の状態を明らかにするために作成されます。

学校法人は教育研究活動を遂行することを目的とする非営利法人であるため、長期的な観点で基本金組入後事業活動収入と事業活動支出が均衡している状態が理想とされ、収支の状況は学校法人の経営や財政の状況を示す一つの指標となります。

#### ～ 企業会計との比較 ～

事業活動収支計算書の概念に類似する書類として、企業では損益計算書が作成されます。

事業活動収支計算書は、事業活動ごとの収支の内容及び基本金組入後の収支の均衡の状態を明らかにするために作成されますが、損益計算書は当該会計年度の経営成績を明らかにするために作成されます。

#### （２）資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容ならびに当該会計年度の支払資金の収入及び支出の顛末を明らかにするために作成されます。

### **(3) 活動区分資金収支計算書**

活動区分資金収支計算書は、学校法人の資金収支活動を以下の活動ごとに区分して理解することを目的とするものです。

- ①教育活動
- ②施設もしくは設備の取得または売却その他これに類する活動
- ③資金調達その他、①②に掲げる活動以外の活動

#### **～ 企業会計との比較 ～**

資金収支計算書、活動区分資金収支計算書の概念に類似する書類として、企業ではキャッシュ・フロー計算書が作成されます。キャッシュ・フロー計算書は一会計期間におけるキャッシュ・フローの状況を、営業活動、投資活動、財務活動の活動区分ごとに表示するものです。

### **(4) 貸借対照表**

貸借対照表は、年度末における学校法人の財産の状態を明らかにするために作成されます。

## 2. 2024 年度決算について

### (1) 決算の概要

学園の経営状態を示す事業活動収支計算書では、事業活動収入計は 160 億 9000 万円となり、予算と比較して 3 億 1800 万円増加しました。これは、手数料収入、寄付金収入、補助金収入、雑収入、受取利息・配当金、資産売却差額等が増加したことによるものです。

一方、事業活動支出計は 159 億 3400 万円となり、予算と比較して、6 億 3200 万円減少しました。主に、教育研究経費や管理経費が減少したことによりです。

昨年度決算と比較すると、事業活動収入計は 1 億 4400 万円の増加となりました。これは、受取利息・配当金、資産売却差額等が増加したことによりです。

一方、事業活動支出計は 7 億 5900 万円の増加となりました。これは主に教育研究経費、管理経費等が増加したことによりです。

この結果、教育活動収支差額については、2 億 8100 万円の支出超過、教育活動外収支差額については 4 億 200 万円の収入超過、経常収支差額については、1 億 2100 万円の収入超過、特別収支差額については 3500 万円の収入超過となり、基本金組入前当年度収支差額は 1 億 5600 万円の収入超過となりました。これに、基本金組入額合計 1 億 6900 万円を差引いた、当年度収支差額は、1200 万円の支出超過となり、前年度から繰越された 6200 万円の収入超過額を加味した結果、翌年度繰越収支差額は 5000 万円の収入超過となりました。

次に、学園全体の資金の動きを示す資金収支計算書では、資金収入は、予算と比較して 109 億 500 万円ほど上回り、309 億 3100 万円となり、前年度からの繰越支払資金と合わせて 468 億 6700 万円となりました。一方、資金支出は、予算を 181 億 1300 万円ほど上回り、394 億 4200 万円となりました。その結果、次年度への繰越支払資金は、予算より 71 億 4200 万円減少し、74 億 2500 万円となりました。

### (2) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

2024 年度は、支出面においては、中期計画を遂行するための教育研究経費、管理経費等が増加したことにより、事業活動支出が増加しました。一方で、収入面においては、手数料収入、資産運用収入等が増加したことにより、事業活動収入が増加しました。その結果、経常収支差額 1 億 2100 万円、基本金組入前当年度収支差額 1 億 5600 万円を計上しました。

今後、中長期の事業計画の実現に向けて必要な資金を確保するために、より強固な財務基盤の構築を目指し、中長期の財務政策を実現するための施策を検討してまいります。

### (3) 事業活動収支計算書について

2024（令和6）年4月1日から2025（令和7）年3月31日まで

（単位：百万円）

| No.     |           | 科 目           | 予 算           | 決 算       | 差 異       |
|---------|-----------|---------------|---------------|-----------|-----------|
| 1       | 教育活動収入の部  | 学生生徒等納付金 ①    | 12,022        | 11,645    | 377       |
| 2       |           | 手数料 ②         | 608           | 637       | △ 29      |
| 3       |           | 寄付金           | 170           | 228       | △ 58      |
| 4       |           | 経常費等補助金 ③     | 1,811         | 2,152     | △ 341     |
| 5       |           | （国庫補助金収入）     | ( 1,065 )     | ( 1,017 ) | ( 48 )    |
| 6       |           | （地方公共団体補助金収入） | ( 747 )       | ( 1,135 ) | ( △ 388 ) |
| 7       |           | （その他補助金収入）    | ( 0 )         | ( 0 )     | ( 0 )     |
| 8       |           | 付随事業収入 ④      | 324           | 281       | 43        |
| 9       |           | 雑収入 ⑤         | 477           | 571       | △ 94      |
| 10      |           | 教育活動収入計       | 15,412        | 15,514    | △ 102     |
|         | 事業活動支出の部  | 科 目           | 予 算           | 決 算       | 差 異       |
| 11      |           | 人件費 ⑥         | 8,671         | 8,671     | 0         |
| 12      |           | 教育研究経費        | 6,202         | 5,957     | 245       |
| 13      |           | 管理経費          | 1,280         | 1,157     | 123       |
| 14      |           | 徴収不能額等        | 15            | 10        | 5         |
| 15      |           | 教育活動支出計       | 16,168        | 15,795    | 373       |
| 16      |           | 教育活動収支差額      | △ 735         | △ 281     | △ 454     |
|         | 教育活動外収入の部 | 科 目           | 予 算           | 決 算       | 差 異       |
| 17      |           | 受取利息・配当金      | 330           | 402       | △ 72      |
| 18      |           | 教育活動外収入計      | 330           | 402       | △ 72      |
|         | 教育活動外支出の部 | 科 目           | 予 算           | 決 算       | 差 異       |
| 19      |           | 借入金等利息        | 0             | 0         | 0         |
| 20      |           | 教育活動外支出計      | 0             | 0         | 0         |
| 21      |           | 教育活動外収支差額     | 330           | 402       | △ 72      |
| 22      |           | 経常収支差額        | △ 405         | 121       | △ 526     |
|         | 特別収支      | 科 目           | 予 算           | 決 算       | 差 異       |
| 23      |           | 資産売却差額        | 0             | 113       | △ 113     |
| 24      |           | その他の特別収入      | 31            | 60        | △ 29      |
| 25      |           | 特別収入計         | 31            | 173       | △ 142     |
|         |           | 科 目           | 予 算           | 決 算       | 差 異       |
| 26      |           | 資産処分差額        | 169           | 138       | 31        |
| 27      |           | その他特別支出       | 0             | 0         | 0         |
| 28      |           | 特別支出計         | 169           | 138       | 31        |
| 29      |           | 特別収支差額        | △ 138         | 35        | △ 173     |
| 30      |           | [ 予備費 ]       | ( 21 )<br>229 |           | 229       |
| 31      |           | 基本金組入前当年度収支差額 | △ 793         | 156       | △ 949     |
| 32      |           | 基本金組入額合計      | △ 262         | △ 169     | △ 93      |
| 33      |           | 当年度収支差額       | △ 1,055       | △ 12      | △ 1,043   |
| 34      |           | 前年度繰越収支差額     | 62            | 62        | 0         |
| 35      |           | 基本金取崩額        | 0             |           | 0         |
| 36      |           | 翌年度繰越収支差額     | △ 993         | 50        | △ 1,043   |
| ( 参 考 ) |           |               |               |           |           |
| 37      |           | 事業活動収入計       | 15,772        | 16,090    | △ 318     |
| 38      |           | 事業活動支出計       | 16,566        | 15,934    | 632       |

①内訳は、授業料等の10,934百万円と入学金の711百万円でした。予算比で377百万円の減少となりました。

②大部分を占める入学検定料は626百万円でした。主に大学の入学志願者が増加したことにより、予算比で29百万円の増加となりました。

③主な内訳は、大学を対象とする国からの補助金「私立大学等経常費補助金」および「授業料等減免交付金」等の1,017百万円と、小・中高を対象とする東京都からの補助金「私立学校経常費補助金」および「私立高校等授業料軽減助成金」等の1,135百万円です。予算比で341百万円増加しました。

④内訳は、受託事業収入(学外機関等から受入れる受託研究、共同研究等)127百万円と補助活動収入(小学校給食費)154百万円で、予算比で43百万円の減少となりました。

⑤内訳は、退職金財団等交付金377百万円、施設設備利用料91百万円、その他の雑収入103百万円等です。予算比で94百万円増加しています。これは主に、退職者が増加したことにより退職金財団交付金収入が増加したためです。

⑥内訳は、教職員人件費等8,077百万円、退職給与引当金繰入額594百万円です。

(注1) 収入及び支出の差異欄の△印は、予算額より決算額が多かったことを示しています。

(注2) 百万円単位で表示する際に百万円未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

#### (4) 資金収支計算書について

2024（令和6）年4月1日から2025（令和7）年3月31日まで

##### 収入の部

（単位：百万円）

| No. | 科 目           | 予 算       | 決 算       | 差 異       |
|-----|---------------|-----------|-----------|-----------|
| 1   | 学生生徒等納付金収入    | 12,022    | 11,645    | 377       |
| 2   | 手数料収入         | 608       | 637       | △ 29      |
| 3   | 寄付金収入         | 161       | 227       | △ 66      |
| 4   | 補助金収入         | 1,811     | 2,168     | △ 357     |
| 5   | （国庫補助金収入）     | （ 1,065 ） | （ 1,031 ） | （ 34 ）    |
| 6   | （地方公共団体補助金収入） | （ 747 ）   | （ 1,136 ） | （ △ 389 ） |
| 7   | （その他補助金収入）    | （ 0 ）     | （ 0 ）     | （ 0 ）     |
| 8   | 資産売却収入 ①      | 900       | 2,260     | △ 1,360   |
| 9   | 付随事業・収益事業収入   | 324       | 281       | 43        |
| 10  | 受取利息・配当金収入    | 330       | 402       | △ 72      |
| 11  | 雑収入           | 477       | 571       | △ 94      |
| 12  | 借入金等収入        | 0         | 1         | △ 1       |
| 13  | 前受金収入 ②       | 2,106     | 2,433     | △ 327     |
| 14  | その他の収入 ③      | 3,878     | 13,025    | △ 9,147   |
| 15  | 資金収入調整勘定 ④    | △ 2,592   | △ 2,719   | 127       |
| 16  | 上記の収入合計       | 20,025    | 30,931    | △ 10,905  |
| 17  | 前年度繰越支払資金     | 15,937    | 15,937    |           |
| 18  | 収入の部合計        | 35,962    | 46,867    | △ 10,905  |

①年度中に満期を迎えた債券等の売却収入2,106百万円と、指定包括信託運用における株式等の売却収入150百万円です。

②2025年度新入生からの納付金と教育充実資金寄付金等です。なお、この収入は2025年度の収入になるものです。

③大半は引当特定資産からの取崩収入で、その主な内容は次の通りです。

・退職給与引当特定資産の取崩額 606百万円  
 ・施設拡充引当特定資産の取崩額 11,744百万円  
 ・特定目的引当資産等の取崩額 245百万円  
 その他は、2023年度の未収入金収入等の412百万円です。

④資金収支計算書では、当年度の諸活動に対応する実際の収入・支出が前年度または翌年度であっても、当年度の資金収支計算書に含めて表示します。そのため、資金の実際の収入・支出を、当年度の諸活動に対応する収入・支出に調整する必要が生じます。その際用いられる勘定を「資金収入（支出）調整勘定」と言います。

（例：当年度開講された授業に対する授業料収入のうち、前年度末に当年度入学予定者から納付された分については、前年度の資金収入に該当するので「前期未前受金」という資金収入調整勘定科目を用いて調整します。）

##### 支出の部

（単位：百万円）

| No. | 科 目        | 予 算          | 決 算     | 差 異      |
|-----|------------|--------------|---------|----------|
| 19  | 人件費支出      | 8,618        | 8,683   | △ 65     |
| 20  | 教育研究経費支出   | 4,540        | 4,315   | 225      |
| 21  | 管理経費支出     | 1,063        | 951     | 112      |
| 22  | 借入金等利息支出   | 0            | 0       | 0        |
| 23  | 借入金等返済支出   | 0            | 0       | 0        |
| 24  | 施設関係支出 ⑤   | 3,451        | 3,334   | 117      |
| 25  | 設備関係支出     | 685          | 777     | △ 92     |
| 26  | 資産運用支出 ⑥   | 3,034        | 22,069  | △ 19,035 |
| 27  | その他の支出     | 1,119        | 1,115   | 4        |
| 28  | 〔予備費〕      | （ 300 ）<br>0 |         | 0        |
| 29  | 資金支出調整勘定 ④ | △ 1,181      | △ 1,802 | 621      |
| 30  | 上記の支出合計    | 21,329       | 39,442  | △ 18,113 |
| 31  | 翌年度繰越支払資金  | 14,567       | 7,425   | 7,142    |
| 32  | 支出の部合計     | 35,962       | 46,867  | △ 10,905 |

⑤主な内訳は次の通りです。

・大学新11号館建設工事 2,293百万円  
 ・大学1号館空調設備改修工事 117百万円  
 ・大学10号館高圧受変電設備更新工事 93百万円  
 ・大学14号館空調設備改修工事 90百万円  
 ・中高第1体育館空調設備設置工事 75百万円  
 ・大学9号館高圧受変電設備更新工事 73百万円  
 ・大学2号館空調設備改修工事 65百万円  
 ・大学体育倉庫新設工事 52百万円  
 ・小学校体育館空調設備設置工事 52百万円

⑥引当特定資産への積上げと有価証券（債券）等の購入ならびに指定包括信託運用時の株式購入にかかる支出です。内訳は次の通りです。

・有価証券購入支出 9,006百万円  
 ・指定包括信託購入支出 258百万円  
 ・第3号基本金引当特定資産繰入額 3百万円  
 ・退職給与引当特定資産繰入額 594百万円  
 ・施設拡充引当特定資産繰入額 2,000百万円  
 ・特定目的引当特定資産繰入額 214百万円  
 ・大学施設拡充引当特定資産繰入額 7,994百万円

（注1）収入及び支出の差異欄の△印は予算額より決算額が多かったことを示しています。

（注2）百万円単位で表示する際に百万円未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

(5) 活動区分資金収支計算書について

2024（令和6）年4月1日から2025（令和7）年3月31日まで

（単位：百万円）

| No. |                           | 科 目                          | 金 額     |
|-----|---------------------------|------------------------------|---------|
| 1   | 教育活動による資金収支               | 学生生徒等納付金収入                   | 11,645  |
| 2   |                           | 手数料収入                        | 637     |
| 3   |                           | 特別寄付金収入                      | 89      |
| 4   |                           | 一般寄付金収入                      | 129     |
| 5   |                           | 経常費等補助金収入                    | 2,152   |
| 6   |                           | 付随事業収入                       | 281     |
| 7   |                           | 雑収入                          | 571     |
| 8   |                           | 教育活動資金収入計                    | 15,504  |
| 9   |                           | 人件費支出                        | 8,683   |
| 10  |                           | 教育研究経費支出                     | 4,315   |
| 11  |                           | 管理経費支出                       | 951     |
| 12  |                           | 教育活動資金支出計                    | 13,949  |
| 13  |                           | 差引                           | 1,555   |
| 14  |                           | 調整勘定等                        | 136     |
| 15  |                           | 教育活動資金収支差額                   | 1,691   |
|     | 施設整備等活動による資金収支            | 科 目                          | 金 額     |
| 16  |                           | 施設設備寄付金補助金収入                 | 9       |
| 17  |                           | 施設設備補助金収入                    | 15      |
| 18  |                           | 施設拡充引当特定資産取崩収入               | 11,744  |
| 20  |                           | 施設整備等活動資金収入計                 | 11,768  |
| 21  |                           | 施設関係支出                       | 3,334   |
| 22  |                           | 設備関係支出                       | 777     |
| 23  |                           | 施設拡充引当特定資産繰入支出               | 2,000   |
| 24  |                           | 大学施設拡充引当特定資産繰入支出             | 7,994   |
| 25  |                           | 中高施設拡充引当特定資産繰入支出             | 2,000   |
| 26  |                           | 施設整備等活動資金支出計                 | 16,104  |
| 27  |                           | 差引                           | △ 4,336 |
| 28  |                           | 調整勘定等                        | 684     |
| 29  |                           | 施設整備等活動資金収支差額                | △ 3,653 |
| 30  |                           | 小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額） | △ 1,961 |
|     | その他の活動による資金収支             | 科 目                          | 金 額     |
| 31  |                           | 有価証券売却収入                     | 2,106   |
| 32  |                           | 指定包括信託売却収入                   | 154     |
| 34  |                           | 退職給与引当特定資産取崩収入               | 606     |
| 35  |                           | 特定目的引当特定資産取崩収入               | 245     |
| 36  |                           | 貸付金回収収入                      | 17      |
| 37  |                           | 小計                           | 3,130   |
| 38  |                           | 受取利息・配当金収入                   | 402     |
| 39  |                           | その他の活動資金収入計                  | 3,532   |
| 40  |                           | 有価証券購入支出                     | 9,006   |
| 41  |                           | 指定包括信託購入支出                   | 258     |
| 42  |                           | 第3号基本金引当特定資産繰入支出             | 3       |
| 43  |                           | 退職給与引当特定資産繰入支出               | 594     |
| 44  |                           | 特定目的引当特定資産繰入支出               | 214     |
| 45  |                           | 仮払金支払支出                      | 2       |
| 46  |                           | 預り金支出                        | 4       |
| 47  |                           | 小計                           | 10,082  |
| 48  |                           | その他の活動資金支出計                  | 10,082  |
| 49  |                           | 差引                           | △ 6,550 |
| 50  |                           | 調整勘定等                        | 0       |
| 51  |                           | その他の活動資金収支差額                 | △ 6,550 |
| 52  | 支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額） |                              | △ 8,511 |
| 53  | 前年度繰越支払資金                 |                              | 15,937  |
| 54  | 翌年度繰越支払資金                 |                              | 7,425   |

活動区分資金収支計算書では、活動区分ごとに資金の流れを大きくつかむことができます。活動区分ごとの収支差額は以下の通りです。

＜教育活動資金収支差額＞  
キャッシュベースでの教育活動の収支状況を表します。2024年度は、1,691百万円の収入超過となりました。

＜施設整備等活動資金収支差額＞  
施設もしくは設備の取得、売却等に関する活動による収支状況を示します。2024年度は、3,653百万円の支出超過となりました。

＜その他の活動資金収支差額＞  
借入金の収支、資金運用の状況等、主に財務活動による収支状況を示します。2024年度は、6,550百万円の支出超過となりました。

（注）百万円単位で表示する際に百万円未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

## (6) 貸借対照表について

2025(令和7)年3月31日現在

### 資産の部

(単位：百万円)

| No. | 科 目           | 本年度末    | 前年度末    | 増減      |
|-----|---------------|---------|---------|---------|
| 1   | <b>固定資産</b>   | 87,254  | 83,976  | 3,278   |
| 2   | 有形固定資産 ①      | 39,396  | 37,421  | 1,975   |
| 3   | 土 地           | 6,582   | 6,582   | 0       |
| 4   | 建物・構築物        | 25,325  | 19,337  | 5,988   |
| 5   | 備 品           | 1,282   | 1,110   | 172     |
| 6   | 図 書           | 6,178   | 6,221   | △ 43    |
| 7   | その他           | 29      | 4,170   | △ 4,141 |
| 8   | <b>特定資産 ②</b> | 39,921  | 39,710  | 211     |
| 9   | 第2号基本金引当特定資産  | 0       | 0       | 0       |
| 10  | 第3号基本金引当特定資産  | 8,446   | 8,443   | 3       |
| 11  | 退職給与引当特定資産    | 3,467   | 3,480   | △ 13    |
| 12  | その他の引当特定資産    | 28,007  | 27,787  | 220     |
| 13  | その他の固定資産      | 7,938   | 6,845   | 1,093   |
| 14  | 有価証券          | 5,348   | 4,647   | 701     |
| 15  | 指定包括信託        | 2,303   | 2,086   | 217     |
| 16  | その他           | 288     | 112     | 176     |
| 17  | <b>流動資産</b>   | 14,970  | 17,317  | △ 2,347 |
| 18  | 現金・預金         | 7,425   | 15,937  | △ 8,512 |
| 19  | 有価証券          | 7,100   | 900     | 6,200   |
| 20  | その他           | 445     | 480     | △ 35    |
| 21  | 資産の部合計        | 102,224 | 101,292 | 932     |

①大学新11号館が竣工し、建物・構築物が増加しました。一方で前年度まで計上していた建設仮勘定を建物・構築物に振り替えているため「その他」が減少しています。これに、資産の除却や減価償却を差し引きした結果、前年度と比べ1,975百万円の増加となりました。

②主に有価証券、指定包括信託、ソフトウェアが増加したことにより、前年度に比べ211百万円の増加となっています。

③固定負債については、主に退職給与引当金の減少により12百万円減少し、流動負債については、その他に含まれる未払金が増加したことにより、788百万円増加しました。

④資産合計102,224百万円から負債7,872百万円を差し引いた純資産額（自己資金）は、前年度に比べ156百万円増加し、94,352百万円となっています。

### 負債の部

(単位：百万円)

| No. | 科 目           | 本年度末  | 前年度末  | 増減   |
|-----|---------------|-------|-------|------|
| 22  | <b>固定負債 ③</b> | 3,469 | 3,481 | △ 12 |
| 23  | 長期借入金         | 1     | 2     | △ 1  |
| 24  | 長期未払金         | 0     | 0     | 0    |
| 25  | 退職給与引当金       | 3,467 | 3,480 | △ 13 |
| 26  | <b>流動負債 ③</b> | 4,404 | 3,616 | 788  |
| 27  | 前受金           | 2,436 | 2,280 | 156  |
| 28  | その他           | 1,968 | 1,336 | 632  |
| 29  | 負債の部合計        | 7,872 | 7,097 | 775  |

### 純資産の部

(単位：百万円)

| No. | 科 目           | 本年度末    | 前年度末    | 増減   |
|-----|---------------|---------|---------|------|
| 30  | <b>基本金</b>    | 94,302  | 94,133  | 169  |
| 31  | 第1号基本金        | 84,913  | 84,747  | 166  |
| 32  | 第3号基本金        | 8,446   | 8,443   | 3    |
| 33  | 第4号基本金        | 943     | 943     | 0    |
| 34  | <b>繰越収支差額</b> | 50      | 62      | △ 12 |
| 35  | 翌年度繰越収支差額     | 50      | 62      | △ 12 |
| 36  | 純資産の部合計 ④     | 94,352  | 94,196  | 156  |
| 37  | 負債及び純資産の部合計   | 102,224 | 101,292 | 932  |

(注) 百万円単位で表示する際に百万円未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

#### 基本金

基本金とは、学校法人の諸活動に必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものです。

第1号基本金：学校運営のために基本的に必要とする建物、機器備品、図書等の有形固定資産を自己資金で取得した時に組入れる金額です。

第2号基本金：将来の校舎等の取得のため計画的にその支払資金を積上げる施設設備整備資金です。

第3号基本金：奨学金など、基金として継続的に保持し、運用する金銭その他の資産の額です。

第4号基本金：学校法人が恒常的に保持すべき資金として、およそひと月分の運転資金に相当する額が組み入れられます。

### 3. 5カ年の財務状況推移

#### (1) 事業活動収支計算書決算額5カ年推移

(単位：百万円)

| No. |               |           | 科 目      | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度  | 2023年度 | 2024年度 |
|-----|---------------|-----------|----------|--------|--------|---------|--------|--------|
| 1   | 教育活動収支        | 事業活動収入の部  | 学生生徒等納付金 | 11,441 | 11,568 | 11,859  | 11,960 | 11,645 |
| 2   |               |           | 手数料      | 547    | 588    | 552     | 604    | 637    |
| 3   |               |           | 寄付金      | 212    | 194    | 229     | 245    | 228    |
| 4   |               |           | 経常費等補助金  | 1,684  | 1,770  | 1,562   | 1,822  | 2,152  |
| 5   |               |           | 付随事業収入   | 200    | 312    | 309     | 290    | 281    |
| 6   |               |           | 雑収入      | 486    | 457    | 475     | 623    | 571    |
| 7   |               |           | 教育活動収入計  | 14,570 | 14,888 | 14,986  | 15,545 | 15,514 |
| 8   |               | 事業活動支出の部  | 科 目      | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度  | 2023年度 | 2024年度 |
| 9   |               |           | 人件費      | 8,348  | 8,342  | 8,511   | 8,720  | 8,671  |
| 10  |               |           | 教育研究経費   | 4,774  | 4,539  | 5,113   | 5,189  | 5,957  |
| 11  |               |           | 管理経費     | 1,130  | 983    | 1,094   | 1,114  | 1,157  |
| 12  |               |           | 徴収不能額等   | 9      | 15     | 21      | 22     | 10     |
| 13  |               |           | 教育活動支出計  | 14,261 | 13,878 | 14,739  | 15,045 | 15,795 |
| 14  | 教育活動外収支       | 教育活動収支差額  |          | 310    | 1,010  | 247     | 499    | △ 281  |
| 15  |               | 収事業の活動    | 科 目      | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度  | 2023年度 | 2024年度 |
| 16  |               |           | 受取利息・配当金 | 268    | 293    | 326     | 345    | 402    |
| 17  |               | 教育活動外収入計  |          | 268    | 293    | 326     | 345    | 402    |
| 18  |               | 支事業の活動    | 科 目      | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度  | 2023年度 | 2024年度 |
| 19  |               |           | 借入金等利息   | 0      | 0      | 0       | 0      | 0      |
| 20  | 特別収支          | 教育活動外支出計  |          | 0      | 0      | 0       | 0      | 0      |
| 21  |               | 教育活動外収支差額 |          | 268    | 293    | 326     | 345    | 402    |
| 22  |               | 経常収支差額    |          | 577    | 1304   | 573     | 845    | 121    |
| 23  |               | 収事業の活動    | 科 目      | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度  | 2023年度 | 2024年度 |
| 24  |               |           | 資産売却差額   | 64     | 68     | 0       | 0      | 113    |
| 25  |               |           | その他の特別収入 | 125    | 84     | 141     | 57     | 60     |
| 26  |               |           | 特別収入計    | 189    | 152    | 141     | 57     | 173    |
| 27  |               | 支事業の活動    | 科 目      | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度  | 2023年度 | 2024年度 |
| 28  |               |           | 資産処分差額   | 86     | 173    | 173     | 129    | 138    |
| 29  |               |           | その他の特別支出 | 0      | 0      | 0       | 0      | 0      |
| 30  | 基本金組入前当年度収支差額 | 特別支出計     |          | 86     | 173    | 173     | 129    | 138    |
| 31  |               | 特別収支差額    |          | 103    | △ 22   | △ 32    | △ 73   | 35     |
| 32  |               | 基本金組入額合計  |          | △ 785  | △ 794  | △ 1,369 | △ 522  | △ 169  |
| 33  |               | 当年度収支差額   |          | △ 105  | 488    | △ 828   | 250    | △ 12   |
| 34  | 前年度繰越収支差額     |           |          | △ 275  | △ 380  | 107     | △ 721  | 62     |
| 35  | 基本金取崩額        |           |          | 0      | 0      | 0       | 533    | 0      |
| 36  | 翌年度繰越収支差額     |           |          | △ 380  | 107    | △ 721   | 62     | 50     |
| 37  | (参考)          |           |          |        |        |         |        |        |
| 38  | 事業活動収入計       |           |          | 15,027 | 15,333 | 15,453  | 15,946 | 16,090 |
| 39  | 事業活動支出計       |           |          | 14,347 | 14,052 | 14,912  | 15,175 | 15,934 |

(注) 百万円単位で表示する際に百万円未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

## (2) 資金収支計算書決算額5ヵ年推移

### 収入の部

(単位：百万円)

| No. | 科 目           | 2020年度  | 2021年度  | 2022年度  | 2023年度  | 2024年度  |
|-----|---------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1   | 学生生徒等納付金収入    | 11,441  | 11,568  | 11,859  | 11,960  | 11,645  |
| 2   | 手数料収入         | 547     | 588     | 552     | 604     | 637     |
| 3   | 寄付金収入         | 203     | 191     | 220     | 237     | 227     |
| 4   | 補助金収入         | 1,768   | 1,820   | 1,658   | 1,840   | 2,168   |
| 5   | (国庫補助金収入)     | 953     | 1,037   | 870     | 1,052   | 1,031   |
| 6   | (地方公共団体補助金収入) | 813     | 781     | 787     | 788     | 1,136   |
| 7   | (その他補助金収入)    | 2       | 1       | 1       | 1       | 0       |
| 8   | 資産売却収入        | 920     | 1,014   | 708     | 5,071   | 2,260   |
| 9   | 付随事業・収益事業収入   | 200     | 312     | 309     | 290     | 281     |
| 10  | 受取利息・配当金収入    | 268     | 293     | 326     | 345     | 402     |
| 11  | 雑収入           | 483     | 457     | 475     | 623     | 571     |
| 12  | 借入金等収入        | 0       | 0       | 1       | 1       | 1       |
| 13  | 前受金収入         | 2,277   | 2,340   | 2,261   | 2,275   | 2,433   |
| 14  | その他の収入        | 1,523   | 1,834   | 4,236   | 5,767   | 13,025  |
| 15  | 資金収入調整勘定      | △ 2,613 | △ 2,597 | △ 2,742 | △ 2,692 | △ 2,719 |
| 16  | 前年度繰越支払資金     | 13,944  | 14,028  | 15,330  | 14,155  | 15,937  |
| 17  | 収入の部合計        | 30,963  | 31,847  | 35,191  | 40,477  | 46,867  |

### 支出の部

(単位：百万円)

| No. | 科 目       | 2020年度  | 2021年度  | 2022年度 | 2023年度  | 2024年度  |
|-----|-----------|---------|---------|--------|---------|---------|
| 18  | 人件費支出     | 8,405   | 8,420   | 8,552  | 8,806   | 8,683   |
| 19  | 教育研究経費支出  | 3,069   | 2,863   | 3,481  | 3,577   | 4,315   |
| 20  | 管理経費支出    | 887     | 742     | 856    | 878     | 951     |
| 21  | 借入金等利息支出  | 0       | 0       | 0      | 0       | 0       |
| 22  | 借入金等返済支出  | 1       | 1       | 1      | 0       | 0       |
| 23  | 施設関係支出    | 934     | 897     | 2,450  | 2,086   | 3,334   |
| 24  | 設備関係支出    | 406     | 247     | 489    | 298     | 777     |
| 25  | 資産運用支出    | 3,664   | 3,206   | 4,855  | 9,165   | 22,069  |
| 26  | その他の支出    | 1,020   | 1,434   | 1,244  | 895     | 1,115   |
| 27  | 資金支出調整勘定  | △ 1,451 | △ 1,292 | △ 892  | △ 1,164 | △ 1,802 |
| 28  | 翌年度繰越支払資金 | 14,028  | 15,330  | 14,155 | 15,937  | 7,425   |
| 29  | 支出の部合計    | 30,963  | 31,847  | 35,191 | 40,477  | 46,867  |

(注) 百万円単位で表示する際に百万円未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

## (3) 活動区分資金収支計算書決算額5ヵ年推移

(単位: 百万円)

| No. |                | 科 目                           | 2020年度  | 2021年度  | 2022年度  | 2023年度 | 2024年度  |
|-----|----------------|-------------------------------|---------|---------|---------|--------|---------|
| 1   | 教育活動による資金収支    | 学生生徒等納付金収入                    | 11,441  | 11,568  | 11,859  | 11,960 | 11,645  |
| 2   |                | 手数料収入                         | 547     | 588     | 552     | 604    | 637     |
| 3   |                | 特別寄付金収入                       | 74      | 63      | 84      | 99     | 89      |
| 4   |                | 一般寄付金収入                       | 127     | 124     | 133     | 137    | 129     |
| 5   |                | 経常費等補助金収入                     | 1,684   | 1,770   | 1,562   | 1,822  | 2,152   |
| 6   |                | 付随事業収入                        | 200     | 312     | 309     | 290    | 281     |
| 7   |                | 雑収入                           | 481     | 457     | 475     | 623    | 571     |
| 8   |                | 教育活動資金収入計                     | 14,556  | 14,881  | 14,974  | 15,536 | 15,504  |
| 9   |                | 人件費支出                         | 8,405   | 8,420   | 8,552   | 8,806  | 8,683   |
| 10  |                | 教育研究経費支出                      | 3,069   | 2,863   | 3,481   | 3,577  | 4,315   |
| 11  |                | 管理経費支出                        | 887     | 742     | 856     | 878    | 951     |
| 12  |                | 教育活動資金支出計                     | 12,362  | 12,025  | 12,889  | 13,261 | 13,949  |
| 13  |                | 差引                            | 2,194   | 2,856   | 2,085   | 2,275  | 1,555   |
| 14  |                | 調整勘定等                         | △ 272   | 56      | △ 121   | 301    | 136     |
| 15  |                | 教育活動資金収支差額                    | 1,921   | 2,911   | 1,965   | 2,576  | 1,691   |
| 16  | 施設整備等活動による資金収支 | 科 目                           | 2020年度  | 2021年度  | 2022年度  | 2023年度 | 2024年度  |
| 17  |                | 施設設備寄付金収入                     | 2       | 5       | 3       | 0      | 9       |
| 18  |                | 施設設備補助金収入                     | 83      | 50      | 96      | 18     | 15      |
| 19  |                | 施設設備売却収入                      | 0       | 0       | 0       | 0      | 0       |
| 20  |                | 第2号基本金引当特定資産取崩収入              | 0       | 0       | 1,200   | 1,800  | 0       |
| 21  |                | 施設拡充引当特定資産取崩収入                | 538     | 697     | 2,091   | 2,036  | 11,744  |
| 22  |                | 特別修繕引当特定資産取崩収入                | 0       | 0       | 13      | 43     | 0       |
| 23  |                | 施設整備等活動資金収入計                  | 623     | 752     | 3,402   | 3,898  | 11,768  |
| 24  |                | 施設関係支出                        | 934     | 897     | 2,450   | 2,086  | 3,334   |
| 25  |                | 設備関係支出                        | 406     | 247     | 489     | 298    | 777     |
| 26  |                | 第2号基本金引当特定資産繰入支出              | 500     | 500     | 500     | 500    | 0       |
| 27  |                | 施設拡充引当特定資産繰入支出                | 1,500   | 1,500   | 1,499   | 1,501  | 2,000   |
| 28  |                | 大学施設拡充引当特定資産繰入支出              | 0       | 0       | 0       | 0      | 7,994   |
| 29  |                | 中高施設拡充引当特定資産繰入支出              | 0       | 0       | 0       | 0      | 2,000   |
| 30  |                | 特別修繕引当特定資産繰入支出                | 0       | 0       | 0       | 43     | 0       |
| 31  |                | 施設整備等活動資金支出計                  | 3,339   | 3,143   | 4,939   | 4,428  | 16,104  |
| 32  |                | 差引                            | △ 2,716 | △ 2,392 | △ 1,536 | △ 530  | △ 4,336 |
| 33  |                | 調整勘定等                         | 518     | △ 103   | △ 412   | △ 17   | 684     |
| 34  |                | 施設整備等活動資金収支差額                 | △ 2,198 | △ 2,495 | △ 1,948 | △ 547  | △ 3,653 |
| 35  | その他の活動による資金収支  | 小計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) | △ 277   | 417     | 17      | 2,029  | △ 1,961 |
| 36  |                | 科 目                           | 2020年度  | 2021年度  | 2022年度  | 2023年度 | 2024年度  |
| 37  |                | 借入金等収入                        | 0       | 0       | 1       | 1      | 0       |
| 38  |                | 有価証券売却収入                      | 800     | 700     | 697     | 5,060  | 2,106   |
| 39  |                | 指定包括信託売却収入                    | 120     | 314     | 11      | 11     | 154     |
| 40  |                | 第3号基本金引当特定資産取崩収入              | 0       | 0       | 0       | 500    | 0       |
| 41  |                | 退職給与引当特定資産取崩収入                | 470     | 469     | 486     | 655    | 606     |
| 42  |                | 特定目的引当特定資産取崩収入                | 269     | 272     | 98      | 330    | 245     |
| 43  |                | 貸付金回収収入ほか                     | 98      | 50      | 49      | 17     | 18      |
| 44  |                | 小計                            | 1,757   | 1,805   | 1,342   | 6,574  | 3,130   |
| 45  |                | 受取利息・配当金収入                    | 268     | 293     | 326     | 345    | 402     |
| 46  |                | 過年度修正収入                       | 2       | 0       | 0       | 0      | 0       |
| 47  |                | その他の活動資金収入計                   | 2,027   | 2,098   | 1,668   | 6,919  | 3,532   |
| 48  |                | 借入金等返済支出                      | 1       | 1       | 1       | 0      | 0       |
| 49  |                | 有価証券購入支出                      | 800     | 210     | 2,100   | 5,750  | 9,006   |
| 50  |                | 指定包括信託購入支出                    | 172     | 372     | 91      | 95     | 258     |
| 51  |                | 第3号基本金引当特定資産繰入支出              | 3       | 3       | 3       | 2      | 3       |
| 52  |                | 退職給与引当特定資産繰入支出                | 413     | 391     | 445     | 569    | 594     |
| 53  |                | 特定目的引当特定資産繰入支出                | 277     | 229     | 217     | 704    | 214     |
| 54  |                | 貸付金支払支出ほか                     | 1       | 7       | 2       | 46     | 7       |
| 55  |                | 小計                            | 1,666   | 1,214   | 2,859   | 7,167  | 10,082  |
| 56  |                | その他の活動資金支出計                   | 1,666   | 1,214   | 2,859   | 7,167  | 10,082  |
| 57  |                | 差引                            | 361     | 885     | △ 1,191 | △ 247  | △ 6,550 |
| 58  |                | 調整勘定等                         | 0       | 0       | 0       | 0      | 0       |
| 59  |                | その他の活動資金収支差額                  | 361     | 885     | △ 1,191 | △ 247  | △ 6,550 |
| 60  |                | 支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)    | 84      | 1,302   | △ 1,175 | 1,781  | △ 8,511 |
| 61  |                | 前年度繰越支払資金                     | 13,944  | 14,028  | 15,330  | 14,155 | 15,937  |
| 62  |                | 翌年度繰越支払資金                     | 14,028  | 15,330  | 14,155  | 15,937 | 7,425   |

(注) 百万円単位で表示する際に百万円未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

#### (4) 貸借対照表5ヵ年推移

##### 資産の部

(単位：百万円)

| No. | 科 目         | 2020年度 | 2021年度  | 2022年度  | 2023年度  | 2024年度  |
|-----|-------------|--------|---------|---------|---------|---------|
| 1   | 固 定 資 産     | 84,425 | 83,915  | 85,744  | 83,976  | 87,254  |
| 2   | 有形固定資産      | 36,725 | 35,907  | 36,925  | 37,421  | 39,396  |
| 3   | 土地          | 6,582  | 6,582   | 6,582   | 6,582   | 6,582   |
| 4   | 建物・構築物      | 22,236 | 21,661  | 20,539  | 19,337  | 25,325  |
| 5   | 備 品         | 1,200  | 1,067   | 1,217   | 1,110   | 1,282   |
| 6   | 図書          | 6,337  | 6,295   | 6,253   | 6,221   | 6,178   |
| 7   | その他         | 370    | 301     | 2,334   | 4,170   | 29      |
| 8   | 特定資産        | 41,794 | 42,979  | 41,755  | 39,710  | 39,921  |
| 9   | 第2号基本金引当資産  | 1,500  | 2,000   | 1,300   | 0       | 0       |
| 10  | 第3号基本金引当資産  | 8,935  | 8,938   | 8,941   | 8,443   | 8,446   |
| 11  | 退職給与引当特定資産  | 3,685  | 3,606   | 3,565   | 3,480   | 3,467   |
| 12  | その他引当資産     | 27,674 | 28,435  | 27,949  | 27,787  | 28,007  |
| 13  | その他固定資産     | 5,906  | 5,029   | 7,063   | 6,845   | 7,938   |
| 14  | 有価証券        | 3,744  | 2,757   | 4,847   | 4,647   | 5,348   |
| 15  | 指定包括信託      | 1,818  | 1,922   | 2,002   | 2,086   | 2,303   |
| 16  | その他         | 343    | 350     | 214     | 112     | 288     |
| 17  | 流 動 資 産     | 14,816 | 16,388  | 14,619  | 17,317  | 14,970  |
| 18  | 現金・預金       | 14,028 | 15,330  | 14,155  | 15,937  | 7,425   |
| 19  | 有価証券        | 200    | 697     | 10      | 900     | 7,100   |
| 20  | その他         | 587    | 361     | 454     | 480     | 445     |
| 21  | 資産の部合計（総資産） | 99,240 | 100,303 | 100,363 | 101,292 | 102,224 |

##### 負債の部

(単位：百万円)

| No. | 科 目         | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|-----|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 22  | 固 定 負 債     | 3,691  | 3,610  | 3,568  | 3,481  | 3,469  |
| 23  | 長期借入金       | 1      | 0      | 1      | 2      | 1      |
| 24  | 長期未払金       | 6      | 3      | 2      | 0      | 0      |
| 25  | 退職給与引当金     | 3,685  | 3,606  | 3,565  | 3,480  | 3,467  |
| 26  | 流 動 負 債     | 3,948  | 3,811  | 3,371  | 3,616  | 4,404  |
| 27  | 前受金         | 2,292  | 2,343  | 2,265  | 2,280  | 2,436  |
| 28  | その他         | 1,657  | 1,468  | 1,107  | 1,336  | 1,968  |
| 29  | 負債の部合計（総負債） | 7,640  | 7,421  | 6,939  | 7,097  | 7,872  |

##### 純資産の部

(単位：百万円)

| No. | 科 目         | 2020年度 | 2021年度  | 2022年度  | 2023年度  | 2024年度  |
|-----|-------------|--------|---------|---------|---------|---------|
| 30  | 基 本 金       | 91,981 | 92,775  | 94,145  | 94,133  | 94,302  |
| 31  | 第1号基本金      | 80,603 | 80,894  | 82,960  | 84,747  | 84,913  |
| 32  | 第2号基本金      | 1,500  | 2,000   | 1,300   | 0       | 0       |
| 33  | 第3号基本金      | 8,935  | 8,938   | 8,941   | 8,443   | 8,446   |
| 34  | 第4号基本金      | 943    | 943     | 943     | 943     | 943     |
| 35  | 繰越収支差額      | △ 380  | 107     | △ 721   | 62      | 50      |
| 36  | 翌年度繰越収支差額   | △ 380  | 107     | △ 721   | 62      | 50      |
| 37  | 純資産の部合計     | 91,601 | 92,883  | 93,424  | 94,196  | 94,352  |
| 38  | 負債及び純資産の部合計 | 99,240 | 100,303 | 100,363 | 101,292 | 102,224 |

##### 注記

(単位：百万円)

|    |          |        |        |        |        |        |
|----|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 39 | 減価償却累計額  | 44,233 | 45,369 | 46,046 | 47,299 | 47,914 |
| 40 | 基本金要組入額  | 92,561 | 93,313 | 94,244 | 94,151 | 94,963 |
| 41 | 運用資産（※1） | 61,584 | 63,685 | 62,769 | 63,280 | 62,097 |
| 42 | 要積立額（※2） | 58,353 | 59,913 | 59,852 | 59,222 | 59,827 |

※1 運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券＋指定包括信託

※2 要積立額＝減価償却累計額＋退職給与引当金＋第2号基本金＋第3号基本金

(注) 百万円単位で表示する際に百万円未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

## 4. 主な財務比率等の推移

### (1) 事業活動収支計算書関係比率

| 分類                | 財務比率                       | 算式<br>(上段÷下段×100) | 評価<br>(※2) | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|-------------------|----------------------------|-------------------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 経営状況はどうか          | 教育活動収支差額比率                 | 教育活動収支差額          | △          | 2.1%   | 6.8%   | 1.6%   | 3.2%   | -0.2%  |
|                   |                            | 教育活動収入計           |            |        |        |        |        |        |
|                   | 経常収支差額比率                   | 経常収支差額            | △          | 3.9%   | 8.6%   | 3.7%   | 5.3%   | 0.8%   |
|                   |                            | 経常収入(※1)          |            |        |        |        |        |        |
| 収入構成は<br>どうなっているか | 事業活動収支差額比率<br>(旧 帰属収支差額比率) | 基本金組入前当年度収支差額     | △          | 4.5%   | 8.4%   | 3.5%   | 4.8%   | 1.0%   |
|                   |                            | 事業活動収入計           |            |        |        |        |        |        |
|                   | 学生生徒等納付金比率                 | 学生生徒等納付金          | ～          | 77.1%  | 76.2%  | 77.5%  | 75.3%  | 73.2%  |
|                   |                            | 経常収入              |            |        |        |        |        |        |
| 支出構成は適切か          | 経常寄付金比率                    | 教育活動収支の寄付金        | △          | 1.4%   | 1.3%   | 1.5%   | 1.5%   | 1.4%   |
|                   |                            | 経常収入              |            |        |        |        |        |        |
|                   | 経常補助金比率                    | 経常費等補助金           | △          | 11.4%  | 11.7%  | 10.2%  | 11.5%  | 13.6%  |
|                   |                            | 経常収入              |            |        |        |        |        |        |
| 収入と支出の<br>バランス    | 人件費比率                      | 人件費               | ▼          | 56.3%  | 54.9%  | 55.6%  | 54.9%  | 54.5%  |
|                   |                            | 経常収入              |            |        |        |        |        |        |
|                   | 教育研究経費比率                   | 教育研究経費            | △          | 32.2%  | 29.9%  | 33.4%  | 32.7%  | 37.4%  |
|                   |                            | 経常収入              |            |        |        |        |        |        |
| 収入と支出の<br>バランス    | 管理経費比率                     | 管理経費              | ▼          | 7.6%   | 6.5%   | 7.1%   | 7.0%   | 7.3%   |
|                   |                            | 経常収入              |            |        |        |        |        |        |
|                   | 人件費依存率                     | 人件費               | ▼          | 73.0%  | 72.1%  | 71.8%  | 72.9%  | 74.5%  |
|                   |                            | 学生生徒等納付金          |            |        |        |        |        |        |
| 収入と支出の<br>バランス    | 基本金組入後収支比率<br>(旧 消費収支比率)   | 事業活動支出            | ▼          | 100.7% | 96.6%  | 105.9% | 75.3%  | 100.1% |
|                   |                            | 事業活動収入計－基本金組入額    |            |        |        |        |        |        |

※1 経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

※2 「評価」は、日本私立学校振興・共済事業団「令和5年度版 今日の私学財政 大学・短期大学編」による評価を表す。

△ 高い値が良い ▼ 低い値が良い ～ どちらともいえない

### (2) 貸借対照表関係比率の推移

| 分類                    | 財務比率                    | 算式<br>(上段÷下段×100) | 評価<br>(※3) | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|-----------------------|-------------------------|-------------------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 自己資本は<br>充実しているか      | 純資産構成比率<br>(旧 自己資金構成比率) | 純資産               | △          | 92.6%  | 93.1%  | 93.1%  | 93.0%  | 92.3%  |
|                       |                         | 負債＋純資産            |            |        |        |        |        |        |
|                       | 基本金比率                   | 基本金               | △          | 99.4%  | 99.9%  | 99.9%  | 100.0% | 99.3%  |
|                       |                         | 基本金要組入額           |            |        |        |        |        |        |
| 資産構成は<br>どうなっているか     | 流動資産構成比率                | 流動資産              | △          | 16.3%  | 14.6%  | 14.6%  | 17.1%  | 14.6%  |
|                       |                         | 総資産               |            |        |        |        |        |        |
| 負債に備える資産が<br>蓄積されているか | 流動比率                    | 流動資産              | △          | 430.0% | 433.7% | 433.7% | 479.0% | 339.9% |
|                       |                         | 流動負債              |            |        |        |        |        |        |
| 負債の割合は<br>どうか         | 負債比率                    | 総負債               | ▼          | 8.0%   | 7.4%   | 7.4%   | 7.5%   | 8.3%   |
|                       |                         | 純資産               |            |        |        |        |        |        |
| 将来の安全性                | 積立率                     | 運用資産(※1)          | △          | 103.1% | 101.5% | 101.5% | 103.3% | 99.9%  |
|                       |                         | 要積立額(※2)          |            |        |        |        |        |        |

※1 運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券

※2 要積立額＝減価償却累計額＋退職給与引当金＋第2号基本金＋第3号基本金

※3 「評価」は、日本私立学校振興・共済事業団「令和5年度版 今日の私学財政 大学・短期大学編」による評価を表す。

△ 高い値が良い ▼ 低い値が良い

## 5. その他

### (1) 有価証券の状況

(単位：円)

| 種 類                | 当年度 (令和7年3月31日)    |                    |                   |
|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
|                    | 貸借対照表計上額           | 時 価                | 差 額               |
| 時価が貸借対照表計上額を超えるもの  | 21,390,086,394     | 27,472,976,173     | 6,082,889,779     |
| (うち満期保有目的の債券)      | ( 9,099,750,000 )  | ( 9,100,778,900 )  | ( 1,028,900 )     |
| 時価が貸借対照表計上額を超えないもの | 30,413,797,852     | 29,435,119,133     | △ 978,678,719     |
| (うち満期保有目的の債券)      | ( 30,253,775,000 ) | ( 29,296,809,333 ) | ( △ 956,965,667 ) |
| 合 計                | 51,803,884,246     | 56,908,095,306     | 5,104,211,060     |
| (うち満期保有目的の債券)      | ( 39,353,525,000 ) | ( 38,397,588,233 ) | ( △ 955,936,767 ) |
| 時価のない有価証券          | 10,500             |                    |                   |
| 有価証券合計             | 51,803,894,746     |                    |                   |

### (2) 借入金の状況

(単位：円)

| 借入先        | 資金使途  | 期 首       | 増 加     | 減 少 | 期 末       | 利率 | 借入年月日<br>返済年月日           | 令和6年度<br>返済額 | 担保物件 |
|------------|-------|-----------|---------|-----|-----------|----|--------------------------|--------------|------|
| (財)東京都私学財団 | 入学支度金 | 1,500,000 | 250,000 | 0   | 1,750,000 |    | 令和 5. 3.30<br>令和10. 3.10 | 0            | なし   |
|            | 合計    | 1,500,000 | 250,000 | 0   | 1,750,000 |    |                          |              |      |
| 合 計        |       | 1,500,000 | 250,000 | 0   | 1,750,000 |    |                          | 0            |      |

### (3) 寄付金の状況

(単位：円)

| 種 類     | 2024年度寄付金収入 |
|---------|-------------|
| 特別寄付金   | 88,581,831  |
| 一般寄付金   | 129,240,185 |
| 現物寄付    | 45,737,590  |
| 施設設備寄付金 | 0           |
| 寄付金合計   | 263,559,606 |

### (4) 補助金の状況

(単位：円)

| 種 類          | 2024年度補助金収入   |
|--------------|---------------|
| 国庫補助金        | 1,031,014,700 |
| 東京都補助金       | 755,297,836   |
| 東京都私学財団補助金   | 379,225,176   |
| 若手・女性研究者奨励金  | 0             |
| その他地方公共団体補助金 | 2,081,000     |
| 補助金合計        | 2,167,618,712 |

### (5) 関連当事者との取引

(単位：円)

| 属性 | 役員、法人<br>等の名称 | 住所 | 資本金又は<br>出資金 | 事業の内容<br>又は職業 | 議決権の<br>所有割合 | 関係内容   |        | 取引の内容        | 取引金額      | 勘定科目 | 期末残高 |
|----|---------------|----|--------------|---------------|--------------|--------|--------|--------------|-----------|------|------|
|    |               |    |              |               |              | 役員の兼任等 | 事業上の関係 |              |           |      |      |
| 理事 | 仙田 直人         | —  | —            | —             | —            | —      | —      | 借入に対する被保証(※) | 1,750,000 | —    | —    |

※ 当学校法人は、入学支度金に係る公益財団法人東京都私学財団からの借入に対して理事より債務保証を受けている。なお、保証料の支払は行っていない。

## 6. 財産目録

(2025 (令和7) 年3月31日現在)

|          |                   |
|----------|-------------------|
| I 資産総額   | 150,161,943,521 円 |
| 内 基本財産   | 87,549,834,150 円  |
| 運用財産     | 62,612,109,371 円  |
| II 負債総額  | 55,809,894,718 円  |
| III 正味財産 | 94,352,048,803 円  |

(単位：円)

| I 資 産 額     | 摘 要                                | 金 額                                      |
|-------------|------------------------------------|------------------------------------------|
| (1) 基本財産    |                                    |                                          |
| 土地          | 校地・武蔵野市吉祥寺北町所在他                    | 482,115.71 m <sup>2</sup> 6,582,451,438  |
| 建物          | 校舎他・武蔵野市吉祥寺北町所在他                   | 175,178.24 m <sup>2</sup> 62,448,850,306 |
| 構築物         | 体育施設・その他                           | 6,552,492,227                            |
| 教育研究用機器備品   | 教具・校具類                             | 35,476 点 4,746,273,598                   |
| 管理用機器備品     | 事務用備品類                             | 1,059 点 378,734,171                      |
| 図書          | 大学、アジア太平洋研究センター、国際教育センター、高校、中学、小学校 | 1,463,772 冊・点 6,177,908,460              |
| 車両          | 乗用車・貨物自動車                          | 3 台 6,792,630                            |
| 建設仮勘定       | 理工学部エリア新棟建設工事                      | 26,818,000                               |
| 電話加入権       |                                    | 89 本 2,746,508                           |
| ソフトウェア      | 事務システム・その他                         | 153 点 626,766,812                        |
| 小 計         |                                    | 87,549,834,150                           |
| (2) 運用財産    |                                    |                                          |
| 有価証券        | 株式・国債・地方債・社債他                      | 12,447,260,982                           |
| 指定包括信託      | 学園資産運用委託                           | 2,302,858,764                            |
| 特定資産        | 退職給与引当特定資産他                        | 31,474,486,747                           |
| 第3号基本基金引当資産 | 教育振興基金引当資産他                        | 8,446,051,000                            |
| 現金・預金       | 現金・銀行預金 他                          | 7,425,331,570                            |
| 未収入金        | 納付金・退職金財団等交付金他                     | 430,358,283                              |
| 貸付金         | 奨学金他                               | 57,542,330                               |
| 立替金         | 短期留学費用他                            | 1,658,931                                |
| 前払金         | 海外研修費他                             | 22,129,356                               |
| 仮払金         | 国内研究員研修費他                          | 4,431,408                                |
| 小 計         |                                    | 62,612,109,371                           |
| 合 計         |                                    | 150,161,943,521                          |
| 2 負 債 額     | 摘 要                                | 金 額                                      |
| (1) 固定負債    |                                    |                                          |
| 長期借入金       | 入学支度金                              | 1,250,000                                |
| 小 計         |                                    | 1,250,000                                |
| (2) 流動負債    |                                    |                                          |
| 短期借入金       | 返済期限が1年以内の借入金                      | 500,000                                  |
| 未払金         | 物品購入代金他                            | 1,737,368,222                            |
| 前受金         | 納付金及び教育充実資金                        | 2,436,055,970                            |
| 預り金         | 源泉所得税他                             | 230,030,341                              |
| 小 計         |                                    | 4,403,954,533                            |
| (3) 引当金     |                                    |                                          |
| 退職給与引当金     |                                    | 3,467,257,358                            |
| 減価償却引当金     |                                    | 47,913,595,474                           |
| 徴収不能引当金     |                                    | 23,837,353                               |
| 小 計         |                                    | 51,404,690,185                           |
| 合 計         |                                    | 55,809,894,718                           |

# 監 査 報 告 書

2025 年 5 月 13 日

学校法人 成蹊学園

理事会 御中

評議員会 御中

学校法人 成蹊学園

監事 是永 和夫

監事 池谷 幹男

監事 宮本 健悟

私たち学校法人成蹊学園（以下「当学園」という。）の監事は、私立学校法附則第 4 条に従い(旧)私立学校法第 37 条第 3 項第 1 号から第 3 号まで（財産目録は私立学校法第 104 条第 1 項及び私立学校法施行規則第 43 条第 2 項）の規定及び(旧)学校法人成蹊学園寄附行為第 21 条（財産目録は学校法人成蹊学園寄附行為第 68 条第 1 項）の規定に基づき、当学園の 2024 年度（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで）における業務及び財産の状況並びに理事の業務執行の状況を監査しました。その結果を以下のとおり報告します。

## 1. 監査の方法

- (1) 理事会及び評議員会その他重要会議に出席するほか、理事及び各業務担当責任者から定期的又は必要に応じて業務の報告又は説明を受け、重要な書類の閲覧等を行いました。
- (2) 毎月の資金収支及び事業活動収支について財務担当者から必要な報告又は説明を受けるとともに、会計監査人（EY 新日本有限責任監査法人）から監査状況の報告又は説明を受け、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表、並びに財産目録につき必要と思われる監査手続きを実施しました。

## 2. 監査の結果

- (1) 当学園の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 計算書類及び財産目録は、当学園の収支及び財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

以 上